

GiGる先にこそ未来がある。 

ギグワークス統合報告書

INDEX

TOP MESSAGE

VISION～経営理念～

MISSION～使命・役割～

沿革

ギグワークスグループグループ社会的責任

株主優待制度の復活

CSR活動 寄贈

ダイバーシティ経営及び女性活躍の推進について

SDGs推進委員会

なでしこ銘柄

健康経営優良法人～ホワイト500～

当社グループの認証について

事業概要

ギグワークスグループグループの戦略

ギグワークスグループグループの基本方針

企業行動指針

我々の責任

CSR基本方針

ダイバーシティ推進宣言

女性活躍推進宣言

安全衛生方針

健康経営基本方針

環境ポリシー

人材派遣事業行動指針・人材紹介事業行動指針

財務状況報告

財務状況ハイライト

株式状況

コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づく開示

内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

ディスクロージャーポリシー

会社概要

3
4
5
6
7
8
9
10
11
18
19
20
22
42
49
50
51
52
34
54
55
56
57
58
59
60
62
63
66
69
70



GiGworks

TOP MESSAGE



代表取締役社長
村田 峰人

新しいギグワークスグループによろこそ！

先日、とてもショッキングな統計を目にしました。総務省統計局の調査によると2019年の日本人の人口は1年で43万人以上減ったということです。近年、国内の人口が減り続けていることは周知の事実ではありますが、これは中規模クラスの市が一年で3つほど消えたのと同じことと考えると、驚愕の事実として危機感を感じざるを得ませんでした。

このような人口減の最中、当然のごとく労働市場は需給のバランスを欠き、仕事の内容によっては深刻かつ、慢性的な人手不足に陥っている状況です。これからはAI、ロボットが台頭し、人が行わなければならない仕事は減っていくと言われていますが、現状まだまだ過渡期であることを差し置いても、どうしても人でないと対処できない仕事は、これからも無くなることはないでしょう。

かつてどこの国も経験したことのない超高齢化社会故の労働人口の減少を迎えている日本ですが、そんな中、私たちのできることは何かと考えたとき、今グローバルでは急速に広まりつつあるギグ・エコノミー（インターネットを介して単発の仕事を請け負う働き方や、それによって形成される経済形態）の国内での発展が、働き手を増やしたり、労働生産性向上に役立つのではという思いに至ります。そしてそれは、政府が推進する「働き方改革」における後押しにより、副業を認めたり、柔軟な働き方を推奨する企業がどんどん増えているという時代背景にもマッチしていると言えます。まさに今どきの新しい働き方なのですが、実は弊社が事業として23年間やり続けてきたことでもあります。

私たちギグワークス株式会社はその23年間の実績を元に、「ギグ・エコノミーのプラットフォーマー」として今後も多彩な人々の多様な働き方を支援し、お客様にはオンデマンドで質の高いサービスを提供し続けていく所存です。

よりよい未来のために日々挑戦し続ける、新しく生まれ変わったギグワークスグループにどうぞご期待ください。



VISION～経営理念～

日本の
Gig Economy の
プラットフォーム-2-15151.
労働市場に
革命を起す!

MISSION～使命・役割～

日々挑戦, よりよ... 未来のために。

*Do what you can't,
and be what you can.*

沿革

1996年	4月	BPO事業開始
2003年	11月	(株)東京証券取引所マザーズ市場へ株式を公開
2006年	5月	会社分割によりスリープロ(株)を新設、新設会社に全事業を承継（現・連結子会社）
		会社分割後、「スリープログループ(株)」へ商号を変更し、持株会社化
2007年	3月	情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である「ISO/IEC27001」の認証を、当社及び子会社の全業務で同時取得
2010年	8月	当社グループの全体最適を図るべく、連結子会社15社から10社へ組織体制を再構築
2012年	5月	ワンストップでの当社サービス提供を図るべく、連結子会社を9社から3社へ組織体制を再構築
2015年	3月	(株)東京証券取引所市場第二部へ市場変更
	8月	運用支援サービスの拡大を主な目的とし、WELLCOM IS(株)の株式を取得、子会社化（現・連結子会社）
2015年	11月	コワーキングスペース事業への参入を主な目的とし、(株)アセットデザインの株式を取得、子会社化（現・連結子会社）
		スリープロ(株)にてプライバシーマーク取得
2016年	2月	運用支援サービスの拡大を主な目的とし、(株)JBMクリエイトの株式を取得、子会社化（現・連結子会社）
	3月	スリープロ(株)が「優良派遣事業者」認定を受ける
	4月	スリープロ(株)が「えるぼし企業」認定を受ける
	8月	スリープロ(株)が「くるみん企業」認定を受ける
	9月	運営支援サービスの拡大を主な目的とし、ヒューマンウェア(株)の株式を取得、子会社化（現・連結子会社）
2017年	2月	スリープログループ(株)・スリープロ(株)・スリープロウィズテック(株)・スリープロエージェンシー(株)が「健康経営優良法人 2017（ホワイト500）」の認定を受ける
	3月	スリープログループ(株)・スリープロ(株)・スリープロウィズテック(株)・スリープロエージェンシー(株)・WELLCOM IS(株)・(株)JBMクリエイト・ヒューマンウェア(株)・(株)アセットデザインが平成28年度「なでしこ銘柄」として選定される
	5月	スリープロ(株)・(株)JBMクリエイトが「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の認証を受ける
	10月	運用支援サービスの拡大を主な目的とし、オー・エイ・エス(株)の株式を取得、子会社化（現・連結子会社）
	11月	スリープロ(株)・(株)JBMクリエイトが大阪府の「男女いきいき・元気宣言」事業者認定を受ける

2018年	2月	スリープロウィズテック(株)（存続会社）とヒューマンウェア(株)が合併 新社名をヒューマンウェア(株)として新たに発足
		スリープロ(株)が、福岡県「子育て応援宣言企業」登録・名古屋市「女性の活躍推進企業」「子育て支援企業」認定を受ける
		スリープログループ(株)・スリープロ(株)・WELLCOM IS(株)・(株)JBMクリエイト・ヒューマンウェア(株)・スリープロエージェンシー(株)・(株)アセットデザイン・(株)E・PROが「健康経営優良法人2018（ホワイト500）」の認定を受ける
	3月	スリープログループ(株)・スリープロ(株)・WELLCOM IS(株)・(株)JBMクリエイト・ヒューマンウェア(株)・スリープロエージェンシー(株)・(株)アセットデザイン・(株)ADA・(株)E・PROが平成29年度「なでしこ銘柄」として選定される
	8月	ヒューマンウェア(株)にて、平成30年度静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞を受賞
	9月	ヒューマンウェア(株)にて、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業の認証を受ける
2019年	2月	スリープログループ(株)・スリープロ(株)・WELLCOM IS(株)・(株)JBMクリエイト・ヒューマンウェア(株)・スリープロエージェンシー(株)・(株)アセットデザイン・(株)ADA・(株)E・PROが「健康経営優良法人2019（ホワイト500）」の認定を受ける
	3月	スリープログループ(株)・スリープロ(株)・WELLCOM IS(株)・(株)JBMクリエイト・ヒューマンウェア(株)・スリープロエージェンシー(株)・(株)アセットデザイン・(株)ADA・(株)E・PROが平成30年度「なでしこ銘柄」として選定される
		スリープロ(株)が「優良派遣事業者」認定を更新
	8月	スリープログループ(株)を、ギグワークス(株)に商号変更
	11月	(株)アセットデザインが(株)E・PROを吸収合併
2020年	2月	スリープロ(株)（存続会社）とWELLCOM IS(株)、(株)JBMクリエイトが合併 新社名ギグワークスアドバリュー(株)として新たに発足
		オー・エイ・エス(株)（存続会社）とヒューマンウェア(株)が合併 新社名をギグワークスクロスアイティ(株)として新たに発足
		スリープロエージェンシー(株)を、ギグワークス・アドバンス(株)に商号変更
	3月	ギグワーク(株)・ギグワークスアドバリュー(株)・ギグワークスクロスアイティ(株)・ギグワークス・アドバンス(株)・(株)アセットデザイン・(株)ADAが「健康経営優良法人 2020（大規模法人部門）」の認定を受ける
		ギグワーク(株)・ギグワークスアドバリュー(株)・ギグワークスクロスアイティ(株)・ギグワークス・アドバンス(株)・(株)アセットデザイン・(株)ADAが令和元年度「なでしこ銘柄」として選定される



ギグワークスグループの社会的責任

ギグワークスグループの社会的責任

株主優待制度について

2020年10月期におきまして、1株あたり22円の配当（昨年実績14円）といたしました。

（１）対象となる株主様

毎年、4月30日、10月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1単元（100株）以上を保有する株主様を対象といたします。（年2回の株主優待）

（２）株主優待の内容(以下の3つよりお選びいただけます。)

① こども商品券の贈呈

保有株式数	優待内容
1単元(100株)以上	こども商品券 1,000円贈呈

当社グループは主要子会社であるギグワークスアドバリュー株式会社が次世代育成支援対策推進法第13条に基づく基準適合一般事業主として厚生労働大臣より認定（くるみん認定）を受けており、グループ全体として子育てをしながら働き続けることができるよう、仕事と家庭を両立しやすい職場環境づくりを推進し、誰もが仕事と生活の調和が取れた働き方ができる社会の実現に向けて取り組んでおります。

当社グループの「子育てサポート企業」としての一面を知っていただく意味も込めて、全国加盟店や加盟のおもちゃ売場内等で利用できるこども商品券を贈呈いたします。

② 当社グループでマイニングした仮想通貨「ビットコイン(bitcoin)」の贈呈

保有株式数	優待内容
1単元(100株)以上	毎年4月30日、10月31日時点換算で1,000円相当額のビットコインを贈呈

当社グループはブロックチェーン技術が将来の社会的基盤を支える技術になると捉え、試験的に2017年7月より仮想通貨のマイニングを開始、同年12月にはブロックチェーン技術によって登録エージェントと企業を直接繋ぐプラットフォーム構築の実証実験をスタートさせるなどブロックチェーン技術への関わりを深めてまいりました。仮想通貨のマイニングに関しては、現時点ではノウハウの蓄積を目的としているため、業績への影響は軽微ではありますが、人材企業ならではのブロックチェーン技術への関わり的一端を知っていただく意味も込めて、ビットコインを贈呈いたします。

*ビットコインの具体的な配布方法、注意事項につきましては、12月初旬にお送りする「株主優待申込書」でご案内いたします。



ギグワークスグループの社会的責任

③ 公益財団法人 S B S 鎌田財団への寄付

「株主優待申込書」へのご返送がない場合、未返送分に応じた金額を公益財団法人 S B S 鎌田財団に寄付させていただきます。

保有株式数	優待内容
1 単元(100株)以上	1,000円を寄付

【公益財団法人 S B S 鎌田財団】

<http://www.sbs-kamatazaidan.or.jp/skzd/>

S B S 鎌田財団は物流の学術研究と社会的養護を受ける児童を支援する公益財団で、代表理事は S B S ホールディングス株式会社（東証一部）代表取締役社長の鎌田正彦氏が務めております。

* S B S 鎌田財団の代表理事である鎌田正彦氏は2020年4月まで当社の社外取締役でありましたが、本株主優待制度導入時の決議には参加しておりません。

C S R 活動 寄贈

当社グループの C S R 基本方針では、

Ⅲ.社会貢献すること

以下の取り組み等を通じて、国内外の社会に貢献します。

- ・再生可能エネルギーの普及に尽力します。
- ・地域社会や恵まれない地域への教育、活性化に努めます。
- ・最終利益の 1 %を、貧困の撲滅や人々が生きるための食物、飲料水、医療費の確保のために寄附いたします。

と定めております。2020年10月期におきましては、以下の寄付を行いました。

日本赤十字社への寄付	1,000,000円
公益財団法人 S B S 鎌田財団へ寄付	1,060,000円



ギグワークスグループの社会的責任 ～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～ 今後の取組み

ダイバーシティ経営及び女性活躍の推進について

ギグワークスグループは、BPO事業及びコワーキングスペース事業において

日々革新するテクノロジーの発展とサービスを融合提供することにより、人々の生活を豊かにする支援を行い

その中で新たな“働き方”を提案しています。

テクノロジーが急速に進展するなか、多様な市場のニーズを的確に捉え、持続可能な成長を実現するためには

従業員一人ひとりの多様性及び多様な働き方を認め

一人ひとりが働きやすい環境を提供すべきと考えます。

よって、国籍、年齢、性別、性的指向（LGBT）や障がいの有無等にかかわらず

一人ひとりが働きやすい職場環境を整えることで

イノベーションやシナジーの誘発へとつながり

中長期的な成長を実現できるものと考えています。



ギグワークスグループの社会的責任～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～ 今後の取り組み

SDGs推進委員会

我々は、SDGs（＝ Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標）推進のため、目指して、「SDGs推進委員会」で以下の内容に取り組めます。

SDGs推進に関する施策立案

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ◆貧困、飢餓をなくす、すべての人に健康と福祉を | ◆人や国の不平等をなくそう |
| ◆質の高い教育をみんなに | ◆住み続けられるまちづくりを |
| ◆ジェンダー平等の実現 | ◆つくる責任 つかう責任 |
| ◆安全な水とトイレを世界中に | ◆気候変動に具体的な対策を |
| ◆エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | ◆海と陸の豊かさを守ろう |
| ◆働きがいも経済成長も | ◆平和と公正をすべての人に |
| ◆産業と技術革新の基盤をつくろう | ◆パートナーシップで目標を達成しよう |

女性活躍に関する施策立案

- ◆男女別の採用における競争倍率、男女別管理職比率、男女別継続就業率、育児休暇取得率、時間外労働時間数や時短勤務・在宅勤務者に関するデータの把握、分析、改善のための施策立案
- ◆女性管理職数向上のための施策立案
- ◆育児休暇取得率向上（男女とも）のための施策立案（ロールモデルの設定含む）

ダイバーシティ推進に関する施策立案

- ◆国、地方公共団体等の取り組みの研究
- ◆当グループにおけるダイバーシティの定義
- ◆対応すべき重要なダイバーシティの属性の決定
- ◆ダイバーシティ推進の理由の明確化
- ◆ダイバーシティを企業メリットにつなげるための具体的施策の立案

その他の取り組み

- ◆介護休暇、会議休業に関する施策立案
- ◆障がい者雇用、外国人雇用、委託契約、LGBTに関する施策立案
- ◆キャリアコンサルティング、新人事制度、就業規則改正に関する事項
- ◆会社に対する事例の発信及び意見交換のためのネットワークの構築



ギグワークスグループの社会的責任

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～ 今後の取り組み

■全社的なルールの構築

- (1) 年齢や勤続年数を前提とした年功序列的な賃金体系を見直す仕組みの導入
- (2) 賃金体系・人事評価制度において、時間当たり成果や生産性に対する評価を重視する仕組みの導入（成果主義報酬等）
- (3) 個人の評価基準を明確にしている（OKRの採用）
- (4) 人事評価において、複数人で評価を確認する仕組み（360度評価など）の導入（変更）
- (5) ハラスメント等のコンプライアンス規定／ガイドラインの明文化
- (6) 匿名での内部通報制度（ホットライン）の構築
- (7) 女性特有の健康課題に関する制度の構築

■正社員に対する柔軟な勤務制度の構築

- (1) 在宅勤務制度
- (2) モバイルワーク勤務
- (3) サテライトオフィス勤務
- (4) 社員本人が勤務地を選択できる制度
- (5) 一定期間、転勤や異動を免除する制度
- (6) フレックスタイム制度
- (7) 時差勤務制度（朝型勤務、シフト勤務等）
- (8) 複数の労働時間区分設定
- (9) 労働時間短縮制度（1日／週／月の所定労働時間の短縮制度）
- (10) 時間外労働免除・制限
- (11) 半日単位の有給休暇制度

■正社員に対するキャリアパスの支援制度

- (1) 職種／コース（総合職⇔一般職、勤務地限定等）の転換制度
- (2) 仕事量・責任範囲を、一定期間現在の職種・等級よりも限定（縮小）する転換を可能とする制度
- (3) 自己都合退職での再雇用制度

■正社員の労働時間適正化（長時間労働改善）への取り組み

- (1) 労働時間の見える化（労働時間を従業員に共有する仕組み）
- (2) 残業時間削減の取り組みが、評価に反映される仕組みの導入
- (3) 管理職の残業時間を把握する仕組みの導入
- (4) 管理職のマネジメントスキルを高める取り組み
- (5) 業務配分（割り当て）の適正化
- (6) 業務の効率化
- (7) 業務の見直し（過剰サービスの廃止など）
- (8) 有給休暇の連続取得奨励
- (9) 早朝出勤（早出勤務）の奨励
- (10) 定時退社日・消灯日の設定
- (11) 所定労働時間の短縮
- (12) 長時間労働改善に向けた意識・行動を変える研修・トレーニングの実施

■管理職に対する女性活躍推進の取り組みへの評価

- (1) 女性活躍推進の取り組み結果を、管理職の評価指標の1つに組み入れている
- (2) 管理職登用にあたり、女性活躍推進に対する取り組みや態度を、選定要件に入れている



ギグワークスグループの社会的責任

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～ 今後の取り組み

■ 属性に関わらず活躍できる職場環境整備や適切なマネジメント促進のための研修

- (1) 「女性が活躍する職場であることが経営成果につながる」ことへの理解促進を行う研修
- (2) 「女性が活躍しやすい職場であること」の重要性・意義への理解促進を行う研修
- (3) 該当する本人に限らず行う育児・介護等に関する社内制度への理解を促進する研修
- (4) 該当する本人に対して、育児・介護等に関する社内制度への理解を促進する研修
- (5) 女性特有の健康課題に関する理解を促進する研修
- (6) 多様な属性の社員への職務付与等の育成に関する研修
- (7) 多様な属性の社員への適切な評価の仕方に関する研修
- (8) 多様な属性の社員に対して偏り（バイアス）のない考課訓練

■ 女性活躍推進に向けた、行動や意識改革を促す研修

- (1) 「女性が活躍する職場であることが経営成果につながる」ことへの理解促進を行う研修
- (2) 「女性が活躍しやすい職場であること」の重要性・意義への理解促進を行う研修
- (3) 該当する本人に限らず行う育児・介護等に関する社内制度への理解を促進する研修
- (4) 該当する本人に対して、育児・介護等に関する社内制度への理解を促進する研修
- (5) 女性特有の健康課題に関する理解を促進する研修
- (6) 多様な属性の社員に対する理解を深めるための研修
- (7) 多様な属性の社員との円滑なコミュニケーション形成のための研修
- (8) 自発的なキャリア形成への支援



ギグワークスグループの社会的責任

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～ 今後の取り組み

■キャリア形成を支援する取り組み

- (1) 社員が自律的にキャリアプランを考える・キャリアデザインを促す等の研修の実施
- (2) ポストや職種要件を公開して応募者を募る社内公募制度
- (3) 社員が就きたい職種や職務を申請して部署異動ができる社内 F A 制度
- (4) 非正規社員から正社員への転換制度
- (5) 派遣から直雇用への転換制度
- (6) 大学・大学院への進学・留学等、自己啓発による休暇／休職を認める制度
- (7) ボランティアのための休暇／休職制度
- (8) 副業・兼業禁止の見直し

■女性管理職を増やす取り組み

- (1) 管理職候補人材を早い段階から社内で発掘し、登用を見据えた人材プールを戦略的に作っている。
- (2) 昇進・登用にあって、ライフイベント等により一時的に業務に制限がかかる社員についても、その要因で不利にならないように、能力に応じて適切に選抜している。
- (3) 管理職候補者育成研修等を教育メニューに取り入れている。
- (4) 女性管理職／管理職候補者の中途採用など、他社（グループ企業含む）からの登用を検討している。

■役員の評価

- (1) 役員の登用にあたり、女性活躍推進に対するそれまでの取り組み経験や実績を重視している。

■女性取締役を増やす取り組み

- (1) 昇進・登用にあって、ライフイベント等により一時的に業務に制限がかかる社員についても、その要因で不利にならないように、能力に応じて適切に選抜している。
- (2) 企業の経営経験者や専門家（弁護士・会計士等）について、役割に応じた登用を実施している。
- (3) 他社（グループ企業含む）の女性取締役・監査役候補人材を、自社の社外取締役・社外監査役として受け入れている。

■取締役会における、経営におけるダイバーシティの取り組みの監督や推進

- (1) ダイバーシティに関する計画や実施状況を取締役会における「報告事項」としている。
- (2) 取締役会において、決議事項・報告事項とは別のディスカッションテーマとして、ダイバーシティの課題、取り組み等について議論している。
- (3) 取締役会において、ダイバーシティをステークホルダーに対する「公約」と位置付け、取り組みの計画や実績を社内外に公表している。
- (4) 社外取締役がダイバーシティの推進役を担っており、ダイバーシティの取り組みに対する評価・指摘を受けている。

◆ギグワークスアワード

- ・イノベーション、生産性、品質、顧客満足を評価軸として社内のグループを表彰する取り組みを開始します。従業員のモチベーション向上を目的としています。



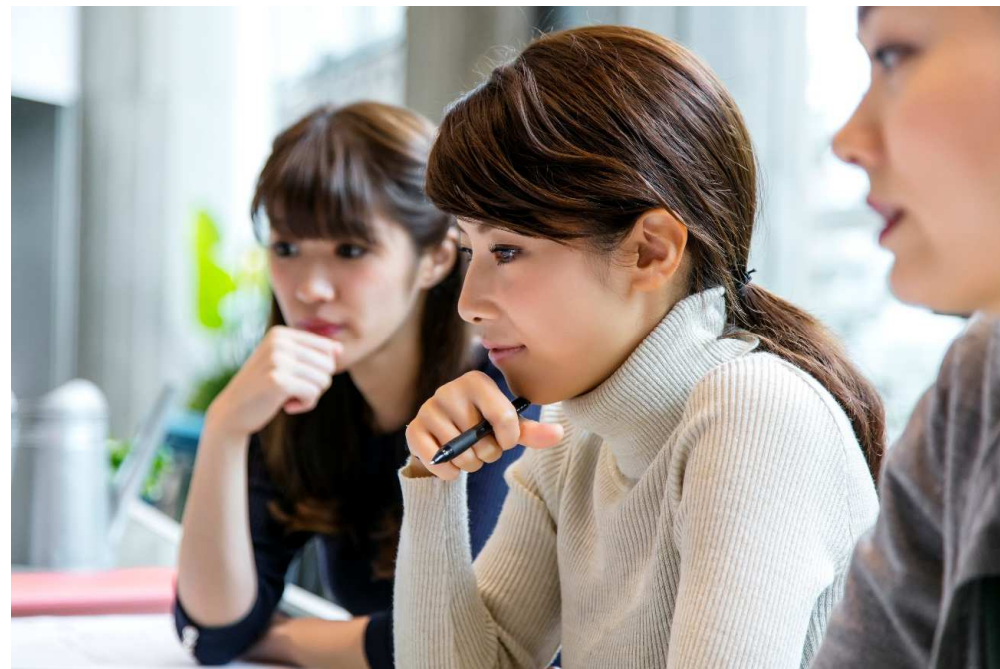
ギグワークスグループの社会的責任

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～ 今後の取り組み

■上記当社グループ施策の特色

- (1) 短時間労働者でも正社員となることが可能。
- (2) 勤務地として地域限定型を自己申告可能。
- (3) コミュニケーション活性化のため、社内での短時間勤務と、自宅での在宅勤務制度の両立
- (4) 男女問わず、母子手帳交付から出産 1 年後まで、年次有給休暇とは別の 7 日間の特別有給休暇制度を作成
- (5) スポーツタイム・シエスタタイムなど、法定休憩時間以外に社員の自発的意思により最大 1 時間の休憩時間を確保可能。
- (6) 社内的には平均月間時間外労働時間を 20 時間に目標設定し、業務改革を行う。
- (7) 法定を超える育児・介護休業、産前産後休暇、子の看護休暇、学校行事休暇等の採用
- (8) 自己啓発（留学含む）やボランティア参加のための休職が可能
- (9) 業務に支障がない限り、届出により副業可能。
- (10) SDGs 推進委員会で女性社員からヒアリングを行い、働きやすい就業規則の改訂を行う

■グループ全体での意思統一のため、オンラインでのキックオフミーティング、定例会議、メッセージ動画配信などを通じて、社長方針や各会社ごと、部門ごとの方針などを共有しており、グループ全体の意思統一に加えて情報共有、新規提案などを行っております。



ギグワークスグループの社会的責任

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～

ギグワークスグループの女性活躍推進における目標値を公表いたします。

■ 女性管理職目標（管理監督者については、10%を目標とします）

目標年度（年）	目標数値（%）
2021 年	30 %

■ 女性取締役目標

目標年度（年）	目標数（人）
2017 年	5 人

■ 女性正社員比率目標

目標年度（年）	目標数値（%）
2021 年	50 %

■ 女性正社員新卒採用比率目標

目標年度（年）	目標数値（%）
2021 年	50 %

ギグワークスグループの女性活躍推進における、2020年10月末日段階での実績値を公表いたします。（）内の数値は、昨年度のものです。

（１）正社員数

	全数（男女計）	うち女性
全数	727(732) 人	199(210) 人
30歳未満	138 人	56 人
30～39歳	229 人	70 人
40～49歳	235 人	47 人
50～59歳	104 人	25 人
60歳以上	21 人	1 人

（２）正社員平均勤続年数、離職者数

正社員平均勤続年数		
男性	10.0(11.5)	年
女性	7.1(9.6)	年

正社員離職者数		
全数（男女計）	38(58)	人
上記のうち女性	14(24)	人

ギグワークスグループの社会的責任

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～

（３）正社員新卒・中途入社社員人数

	新卒社員数	中途社員数
全数 (男女計)	25(26) 人	6 人
上記のうち女性	11(15) 人	2 人

（４）管理職人数

課長職以上管理職人数	
全数 (男女計)	129(95) 人
上記のうち女性	11(17) 人

新規に管理職として登用した人数	
全数 (男女計)	9(5) 人
上記のうち女性	4(1) 人

係長相当職人数	
全数 (男女計)	49(5) 人
上記のうち女性	11(1) 人

	部長相当職（以上）数	課長相当職数
全数 (男女計)	39(44) 人	56(81) 人
上記のうち女性	3(3) 人	14(17) 人

（５）制度利用実績

内容	正社員の実績	単位
（１）男性育児休業取得率	7.9(2)	%
（２）男性育児休業取得日数	50	日
（３）年次有給休暇取得率	37.5(62.1)	%
（４）年次有給休暇平均取得日数	7(12)	日
（５）一か月あたりの平均残業時間	24(19)	時間

（６）役員実績

上場会社	(１) 取締役数	(２) 社内取締役数	(３) 監査役数	(４) 執行役員数
全数（男女計）	8(9) 人	5(5) 人	4(4) 人	5(5) 人
上記のうち女性	1(1) 人	0(0) 人	0(0) 人	0(0) 人

グループ合算	(１) 取締役数	(２) 社内取締役数	(３) 監査役数	(４) 執行役員数
全数（男女計）	25(27) 人	19(20) 人	4(4) 人	5(5) 人
上記のうち女性	2(5) 人	0(1) 人	0(0) 人	0(0) 人

ギグワークスグループの社会的責任

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～ダイバーシティ及び女性活躍推進についての取組み

なでしこ銘柄 **◆ 4年連続認定**

当社及び当社グループ会社であるギグワークスアドバリュー株式会社／ギグワークスクロスアイティ株式会社／ギグワークス・アドバンス株式会社／株式会社アセットデザイン／株式会社ADAにおいて、2020年3月3日付にて、経済産業省及び株式会社東京証券取引所により「なでしこ銘柄」として選定されました。同銘柄への当社グループの選定は4年連続となります。

なでしこ銘柄について

なでしこ銘柄は、平成24年度より経済産業省と株式会社東京証券取引所により実施されているもので、上場企業の内、「女性活躍推進」に優れた企業を「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することを通じて、企業への投資を促進し、各社の取組みを加速化していくことを狙いとした認定制度です。女性の活躍推進は、ダイバーシティ経営を進める上での「試金石」として、企業のイノベーション促進、グローバルでの競争力強化に貢献すると考えられています。

令和元年度につきましては、全国で46社が選定され、サービス業としては当社を含む2社が選定されました。

令和元年度「なでしこ銘柄」の公表について

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/nyusu.pdf>



ギグワークスグループの社会的責任

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～ダイバーシティ及び女性活躍推進についての取り組み

健康経営優良法人2020（大規模法人部門）

◆ 4年連続認定

ギグワークスグループでは、以前から、全社員の健康維持・向上のため、法定時間外労働時間の削減やメンタルヘルスの向上等に取り組んでまいりましたが、2016年に健康経営基本方針を制定後は、社員だけでなくその家族の皆様のための健康診断や人間ドック、インフルエンザワクチンの接種、スポーツタイムやシエスタタイムの設置等、さらなる取組の強化を行いました。

その結果として、2020年3月2日付にて、当社及び当社グループ会社であるギグワークスアドバリュー株式会社／ギグワークスクロスアイティ株式会社／ギグワークス・アドバンス株式会社／株式会社アセットデザイン／株式会社ADAにおいて、経済産業省が制度設計を行う健康経営優良法人2020（大規模法人部門）に認定されました。健康経営優良法人（大規模法人部門）に認定されましたのは、2017年以降4年連続となります。

「健康経営優良法人認定制度」とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、経済産業省が特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業、医療法人等の法人を顕彰する制度であり、当グループは今年度で4年連続の認定となります。

今後も、全社員及び家族の皆様の健康のため、今回認定を受けた会社だけでなく、他の子会社含めて健康経営優良法人として認められるよう、取り組んでまいります。



健康経営優良法人
Health and productivity



ギグワークスグループの社会的責任

大阪府男女いきいき・元気宣言

当社の子会社であるスリープロ株式会社及び株式会社JBMクリエイトにおいて、2017年11月2日付にて、大阪府より、「男女いきいき・元気宣言事業者登録」を受けることができました。

これは、大阪府が、「女性の能力活用」や「仕事と家庭の両立支援」など、男性も女性もいきいきと働くことができる取組みを進める意欲のある事業者の取組みを応援するというものです。



えるぼし企業の認定

当社の子会社であるスリープロ株式会社が、2016年4月28日付にて、厚生労働大臣よりえるぼし企業の最高位である3段階目の認定を受けることができました。

えるぼし企業認定とは、女性の職業生活における活躍の推進に関する取組に関し、その実施状況が優良なものである場合に、受けることができる認定です。



名古屋市「子育て支援企業」及び「女性の活躍企業」の認定

当社の子会社であるスリープロ株式会社において、2018年1月29日付にて、名古屋市より「子育て支援企業」としての認定を、同じく名古屋市より、2018年1月30日付にて「女性の活躍推進企業」としての認定を受けることができました。

子育てにやさしい活動に取り組んでいる企業及び女性がいきいきと活躍できるような取組をしている企業として名古屋市より認められたものです。



くるみん認定

また、スリープロ株式会社は、次世代育成支援対策推進法に基づき、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣により認定（くるみん認定）を受けました。

くるみん認定とは、子育てと仕事を両立できる環境があるかについて一定の基準を満たした企業に対し、厚生労働大臣によってなされるものです。



ギグワークスグループの社会的責任

◆ISO/IEC27001（ISMS：Information Security Management System）

当社では、セキュリティ水準の向上を最も重要な施策として位置付け、その指針としてセキュリティポリシーを定めています。当社は、情報資産の保護に関連する法律及びISO/IEC27001（ISMS：Information Security Management System）/JISQ27001/ISO/IEC27002/JISQ27002 ISO/IEC27017 JISQ15001 ならびにこれらに基づく各種ガイドライン等の規範、その他の法令・規範を遵守するとともにかかる法令等を遵守するための個人情報保護規程、情報管理規程、その他のコンプライアンスプログラムを策定し、また各ポリシー・コンプライアンスプログラムの内容を継続的に見直し、改善に努めてまいります。



現在、ギグワークスグループでは、ISO/IEC27001については以下のように規格認証を取得しております。

ギグワークス株式会社

ギグワークスアドバリュー株式会社

（札幌、仙台、東京、東京キッティングセンター、横浜事務所、大阪、広島、福岡、熊本）

ギグワークスクロスアイティ株式会社

◆プライバシーマーク

当社は、お客様ならびに当社従業員等・当社業務の個人受託者及び個人受託申込者の個人情報を保護することが当社の事業活動の基本であるとともに、重要な責務と考えており、プライバシーポリシーを定めています。

個人情報の収集目的や利用範囲を限定し、個人情報の適切な管理のための体制を整えるなど、個人情報保護のための取り組みを実施しております。

さらに、セキュリティ水準の向上と同様、当社は、個人情報に関連する法令、国が定める指針、及びJISQ15001 ISO/IEC27001/JISQ27001 ならびにこれらに基づく各種ガイドライン等の規範を遵守するとともに、

かかる法令等を遵守するための個人情報保護規程、その他のコンプライアンスプログラムを策定し、ポリシー・コンプライアンスプログラムの内容を継続的に見直し、改善に努めてまいります。

現在、ギグワークスグループでは、以下のとおりプライバシーマークの認定を受けております。

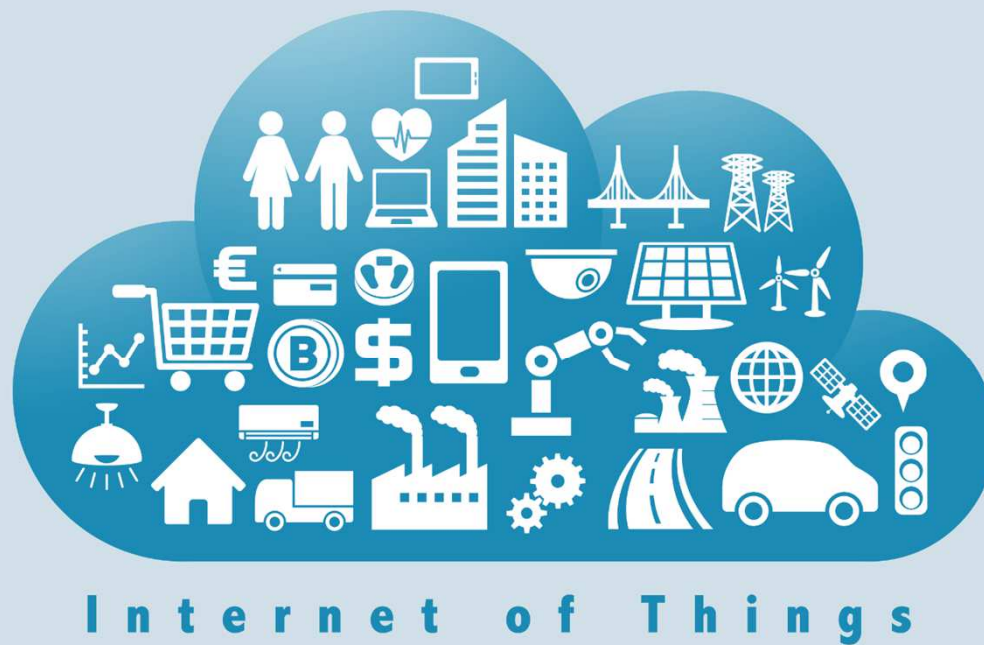


ギグワークスクロスアイティ株式会社



事業概要

～すべてのステークホルダーのために～



多彩な人材と多様な働き方が新しい価値を生み出す
ギグエコノミープラットフォーム



事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

～BUY～購入していただくために

店頭セールスプロモーション

ギグワークスグループでは、量販店・販売店をはじめとする店頭にてストアマネージメントサービスを提供します。量販店・販売店における業務の企画・提案から研修、業務運用、情報収集・分析までを一括して全国展開することが可能です。

クライアントのご要望に応じて、営業業務・ラウンダー業務・店頭販売員（ヘルパー）業務など様々な形態でビジネスをサポートいたします。

サービスの特徴

01

Characteristic

クライアントの販売戦略やキャンペーン・イベントの内容により、地域限定から全国規模の案件まで対応可能。また、特に効果の高い週末・繁忙期だけの短期集中、さらに長期にわたる人材配置も可能です。

02

Characteristic

スタッフを派遣するだけにとどまらず、豊富な商品知識と丁寧な接客を行えるスタッフ育成研修を行っております。

03

Characteristic

当日の販売数の速報値やシフト管理などを全国一括して管理することが可能です。管理者の方はWeb上から全てのデータを閲覧できます。

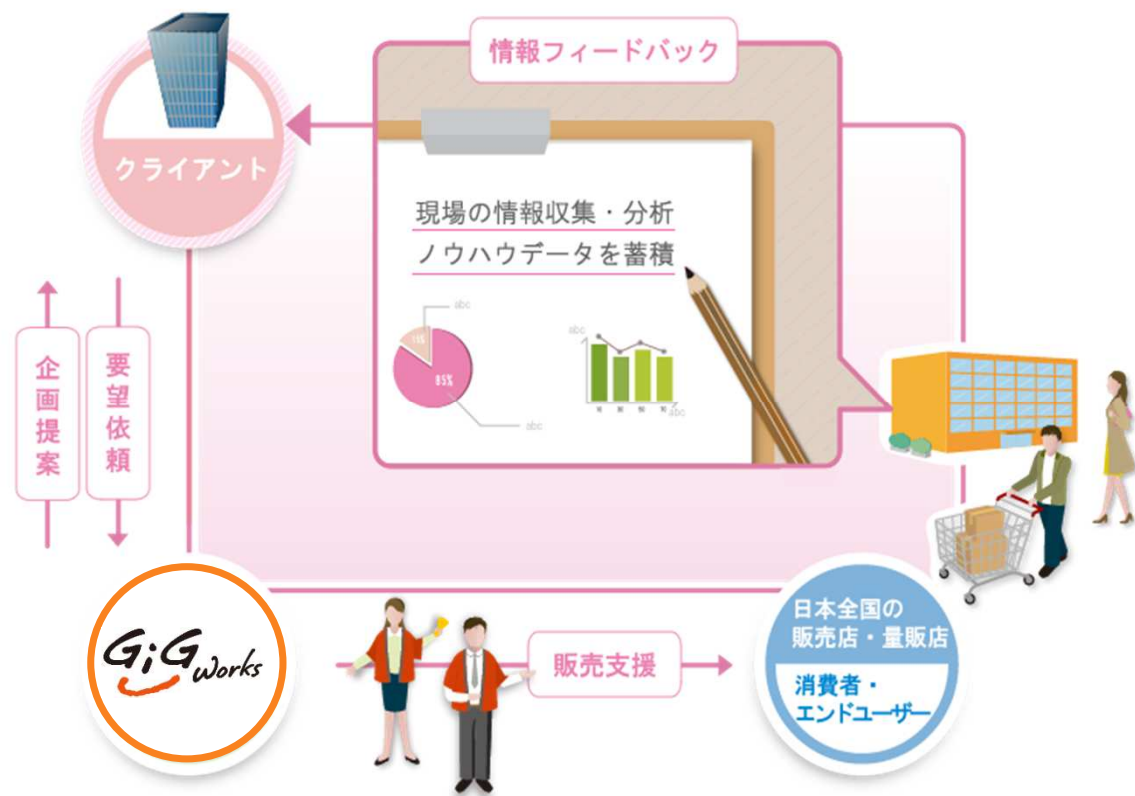
今までに蓄積されたデータを基に分析・検証結果をフィードバックいたします。

04

Characteristic

当社他サービスとの連携によるトータルサポートの提供が可能です。
導入事例：初心者ユーザ向け商品の設置・初期設定訪問サポート・コールセンターの設置

ストアマネージメント



事業概要-オンデマンドエコノミー事業- ～BUY～購入していただくために

リテールラウンダー

リテールラウンダーとは複数の売り場を巡回し、競合製品の調査や自社製品の陳列などを行う業務をいいます。

短期業務のための採用・研修支援やラウンダー業務をクライアント社員に代わって行うことにより、

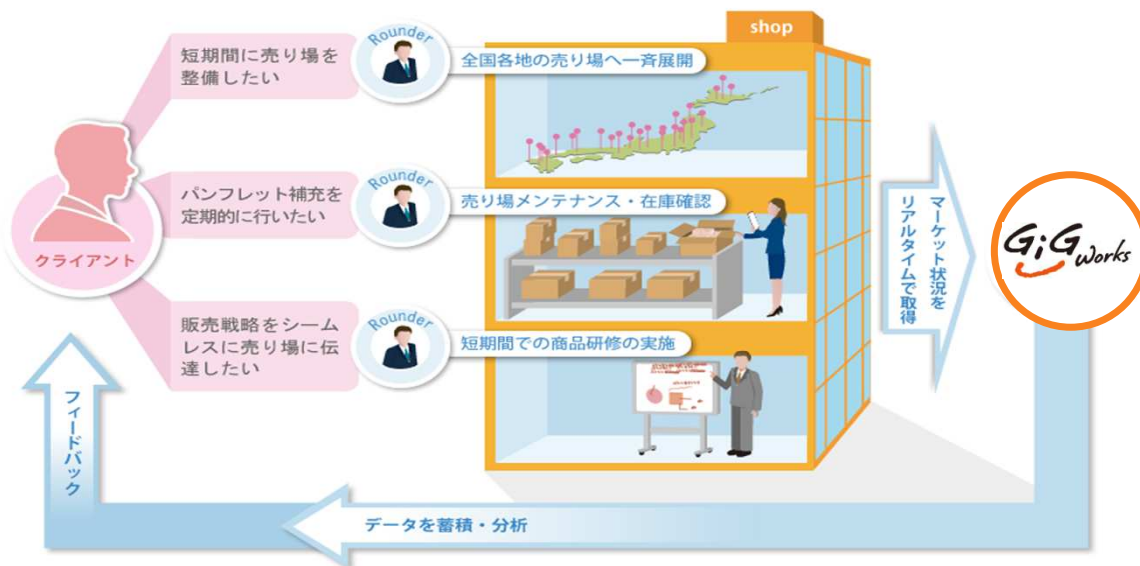
クライアントの生産性を向上いたします。

ギグワークスグループでは従来の単純作業のラウンダー業務にとどまらず、

クライアントと全国の量販店・販売店との間をつなぐハブとしてラウンダー業務を提供いたします。

売り場面積拡大の折衝や、クライアントの製品情報や説明のポイント・販売ノウハウを販売店店員に対して教育・啓蒙することにより、クライアント業務要望を達成いたします。

さらに売場で収集した様々な情報をデータベースに集約し、分析を行います。競合他社・自社製品に対する消費者の声、ニーズなどの情報をクライアントへ提供することも可能です。



サービスの特徴

01 Characteristic

全国の量販店・販売店に商品・サービスを展開したいが人手が足りないとお困りの場合、スタッフの確保、商品、サービス・マナー研修、スタッフの管理まで一括してサービス提供が可能です。

02 Characteristic

クリスマス・年末商戦やボーナス商戦、売場の模様替えを全国一斉に行いたい、コア業務に専念するために量販店・販売店への巡回営業をアウトソーシングしたい時など、クライアントに合わせたサービスを提供することができます。土日のみ、季節毎、週5さらに全国複数個所など時間も場所もフレキシブルに対応いたします。

03 Characteristic

売場の雰囲気や客層、競合他社の状況をはじめとする様々な情報をデータベースに収集。蓄積されたデータとノウハウから分析し、顧客ニーズをはじめとする消費者の意見やマーケティングをフィードバックします。

事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

フィールドマーケティング

～BUY～購入していただくために

フィールドマーケティングサービスとは、単に街頭にてサンプリングするだけではなく、テーブル（特定の場所）でしかつかめない情報や、街の導線、特定エリアのマーケット詳細をつかむことで、ターゲットを絞込み、効果的なプロモーションへつなげることをいいます。国内全域をカバーするギグワークスのプロモーションスタッフが、街頭や店頭でのサンプリング、会員獲得をクライアントに代わって実施いたします。街頭や店頭で、ターゲットに対し、ダイレクトに訴求できるアナログなプロモーション活動がいまふたび注目されています。サンプリングによるリアルなプロモーション活動、会員獲得、オンラインへの誘導促進など。ターゲットに応じて、場所・客層を厳選し実施することにより、よりダイレクトな効果を実感していただくことができます。



サービスの特徴

01

Characteristic

クライアントの販売戦略より、新規ターゲットの想定、フィールドマーケティングの企画、プロモーションの実施、レポートまでトータルサポートいたします。一部のサービスだけの提供なども、フレキシブルに対応いたします。

当社が独自に開発した稼働管理・レポートシステムにより、各拠点でもプロモーションの実施の際においても、全国一元管理が可能となります。

クライアント担当者は本システムを利用することにより、容易にプロモーションの状況を把握することが可能となります。

03

Characteristic

クライアントの販売戦略より、新規ターゲットの想定、フィールドマーケティングの企画、プロモーションの実施、レポートまでトータルサポートいたします。一部のサービスだけの提供なども、フレキシブルに対応いたします。

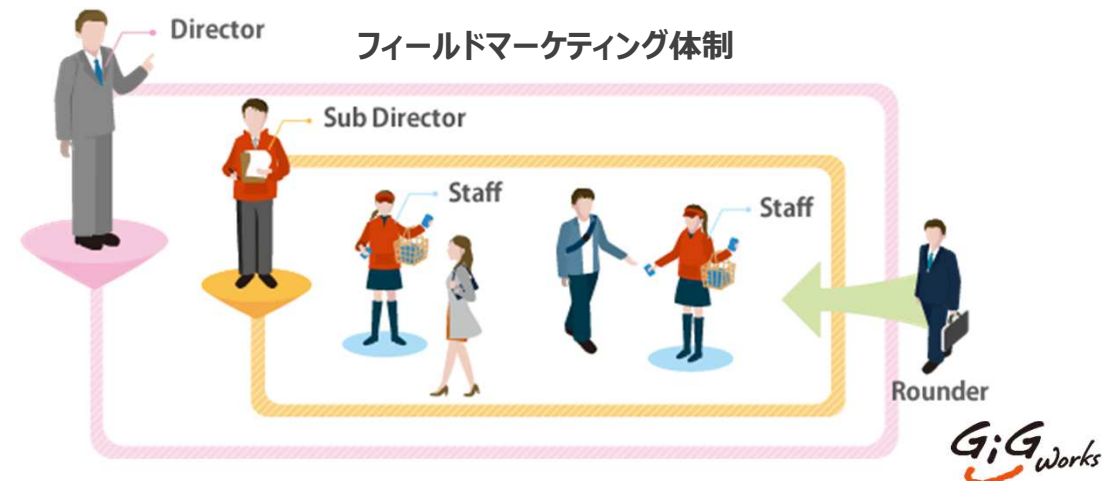
フィールドマーケティングだけではなく、量販店内での接客応援スタッフから、プロモーション後のイン・アウトバウンドコールセンター、IT機器などにおける商品導入後の設置・設定までワンストップでサービス提供が可能です。

02

Characteristic

04

Characteristic



事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

ミステリーショッパー

～BUY～購入していただくために

ミステリーショッパー（覆面調査）とは、一般客と同じように店舗・売場を訪問し、スタッフの接客、商品・サービスの品質、店舗・売場の状況、消費者の声・競合他社の状況等の実態調査を行なうサービスです。

「サービスは行き届いている？」

「営業・販売戦略はきちんと現場で実行されている？」

「お客様の声が聞きたい」

という声を、クライアントからよくお伺いします。

ミステリーショッパーにより全国の店舗で共通の測定基準でチェック・数量化を行うことが可能です。それによって全体の傾向及び各店舗・売場の改善ポイントを把握することができます。

導入効果



従業員のモチベーションアップ



品質管理の改善



消費者の意見獲得



顧客満足度向上

サービスの特徴

01

Characteristic

全国各地での対応：クライアントの販売戦略やキャンペーン・イベントの内容により、地域限定から全国規模の案件まで対応いたします。特に効果の高い週末・繁忙期だけの短期集中、さらに長期にわたる人材配置も可能です。

02

Characteristic

当日の調査数の速報値やシフト管理などを全国一括して管理することが可能です。管理者の方はWeb上から全てのデータをタイムリーに閲覧でき、データを基に分析・検証結果をフィードバックいたします。

03

Characteristic

ギグワークスグループでは、量販店・販売店を中心とした運用実績が6,000件/月にのぼるため、そこで養われた運用・管理ノウハウにより、ミステリーショッパーにおける確実な業務遂行が達成可能となります。

ミステリーショッパーのフロー



① 予約

- ・コール回数の確認
- ・復唱の有無の確認



② 入店

- ・入口の掃除状況の確認
- ・挨拶の有無の確認
- ・スタッフの名前確認



③ 店内

- ・商品選択
⇒商品に対しての質問、注文、スタッフの名前確認
- ・商品確認
⇒提供された商品、撮影
- ・商品環境
⇒店内状況確認



④ レジ・退店

- ・会計作業確認
- ・会計スタッフの名前確認
- ・退店時の挨拶確認
- ・レシート撮影

事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

～Start～始めていただくために

フィールドサポート

ギグワークスグループのフィールドサポートサービスは、クライアントの設計・開発されたシステムに関わるIT機器の設置・導入・展開作業を、クライアントの代わりに現地に訪問、実施するサービスです。フィールドサポートサービスは単にスタッフを派遣するだけでなく、事前の打ち合わせに基づいたエスカレーション対応や展開作業全体の運用・進捗管理など、展開作業の計画から運用までクライアントのコア業務以外の技術系作業の大部分のアウトソースを可能にします。

サービスの特徴

01

Characteristic

日本全国の登録スタッフにより47都道府県全国対応が可能です。
各地域や土日祝日などに関係なく
一律料金にて展開サポートが提供可能です。

02

Characteristic

当社では、エンドユーザーへの接遇がたいへん重要と考えております。
好き・得意という特性を持った人材を研修によりさらにスキルアップするとともに技術者によく見られる技術偏重ではなく、顧客満足度を意識した教育を行っております。

03

Characteristic

弊社独自の基幹業務システムで1件毎に細かく進捗を管理しております。
さらにクライアントの担当者が状況をリアルタイムで確認できる
専用の進捗確認WEBページの提供も可能です。

04

Characteristic

設計・開発のような専門性の高いコア業務に労力を集中させることを実現
させるとともに、固定費である人件費を必要なときのみ変動費に換えることもできます。

フィールドサポートサービスの内容



事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

キittingグ

～START～始めていただくために

キittingグサービスとは、納品前のパソコン、IT関連周辺機器、モバイル端末、タブレット端末等、さまざまな機器に対して、クライアントシステム、情報セキュリティを含めた設定を一括で行うサービスです。

各種アプリケーションのインストール、専用データベース等の設定、ネットワーク設定、モバイル端末・タブレット端末へのM D Mの設定など、クライアントの情報環境にあわせて一括でセッティングいたします。



セキュリティ体制について

①入館時のカード認証



②有人受付による入退館時の手荷物チェック



③警備会社による警備



④入退館を監視カメラで監視



情報セキュリティに関しての組織的・人的・物理的・技術的視点の取り組み

■『ISO/IEC 27001』に基づいた情報セキュリティマネジメントを実施しております。

⇒セキュリティポリシー、プライバシーポリシー参照

■社内セキュリティルール集に基づき運用しております。

■年1回全スタッフへWebラーニングでの情報セキュリティに関する教育を実施しております。

■情報セキュリティ管理者・教育担当者への集合研修を実施し、セキュリティに関する管理体制を常に維持できる体制にしております。

■使用するPC・システムには、I D / P Wによるセキュリティ・管理を実施しております。

事業概要-オンデマンドエコノミー事業- ～START～始めていただくために

運用保守

運用保守サービスとはクライアントのサーバー・ネットワーク機器をはじめとしたIT機器システムをシステム監視・ヘルプデスク・リモートハンド（遠隔操作）・訪問サポートなどによって、24時間365日、クライアントのシステム環境と業務が効率よく運用されるのをサポートするサービスです。

システム障害が発生した場合にはヘルプデスクで受付、リモートハンドによる遠隔操作や状況によっては直接現場に訪問し、システム復旧まで行います。

ギグワークスグループの運用保守サービスは、システム障害を単に解決するだけではありません。ヘルプデスクと駆けつけサポートは当社内の同一部署です。ヘルプデスクでの対応状況を全て把握した上で素早く対応することができるため、お客様をお待たせすることなくスムーズにシステム障害の解決が可能です。

01

Characteristic

ヘルプデスクによる電話サポート・リモートハンド（遠隔操作）および駆けつけサービスは24h365日全国サポートが可能になっております。

急なトラブル発生に対しても同一のチームで連携しているため、迅速かつ確実なサポートが提供可能です。

02

Characteristic

専門性の求められるヘルプデスクも標準で日英2言語によるサービスが可能です。ネイティブのお客様に対しても通訳を介せず日本人と同じ品質のサービスを実現しております。さらに韓国語及び中国語にもオプション対応が可能です。



03

Characteristic

長年に渡る運用保守サービスの数多くの業務実績があるため、その実績に培われた経験とノウハウにより状況に応じた的確な判断と対応を行うと共に、専門の講師による接客研修によって顧客満足度の高いサービスの提供が可能です。

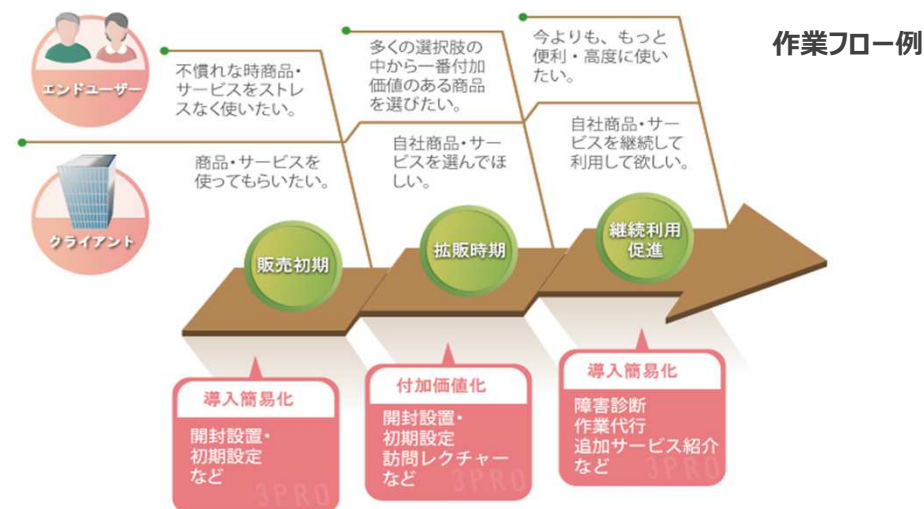
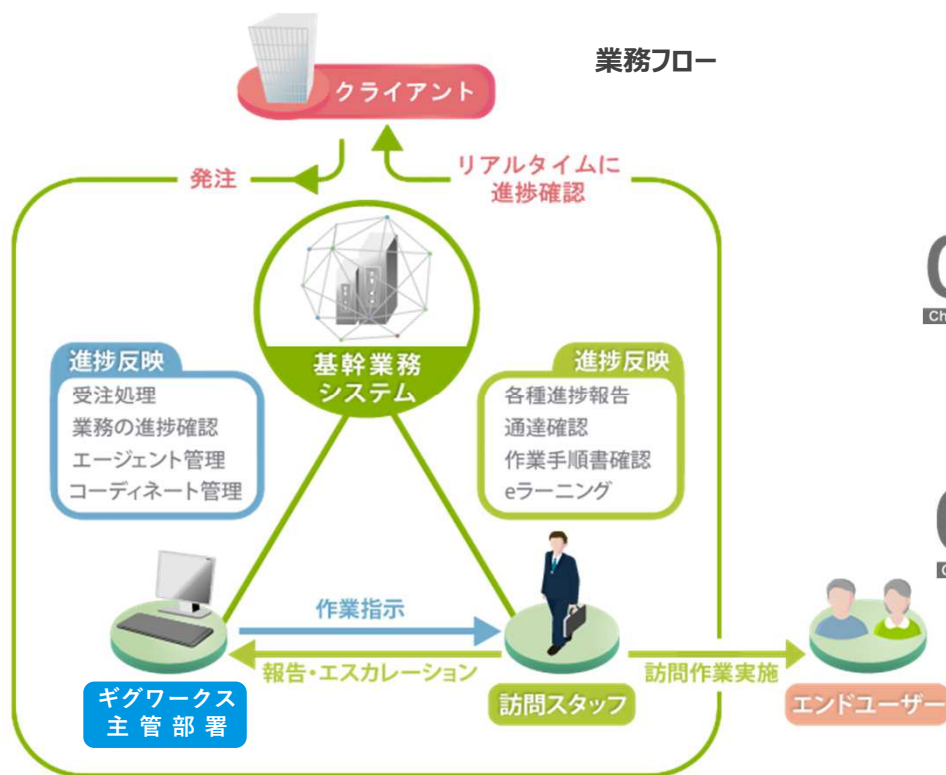
事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

個人向け訪問サポート

～START～始めていただくために

ギグワークスの訪問サポートサービスは、クライアントが販売している商品・サービスの初期設定や
 レクチャーなどをクライアントに代わり個人ユーザーに直接提供するサービスです。

自社で全国にサービス網を持たない場合でも、当社にアウトソーシングすることで全国に設置・レクチャー・
 保守サービスをエンドユーザーへ提供することができます。



01 Characteristic

当社は、個人向けパソコン訪問サポートを全国で展開する上場企業です。

日本全国の登録スタッフにより47都道府県全国対応が可能です。離島を除きエリアによる追加料金や土日祝日対応料金を請求いたしません。訪問サポートを一件単位、かつリーズナブルな価格にて日本全国一律料金の提供が可能です。

03 Characteristic

様々な特性を持った人材に、ギグワークス独自の接遇研修を行います。その結果スキルアップと共に技術のみならず、顧客満足度を意識した人材の育成を実現しております。

弊社独自の基幹業務システムで1件毎に細かく進捗を管理しております。
 さらにクライアントの担当者が状況をリアルタイムで確認できる専用の進捗確認WEB
 ページの提供も可能です。確実かつ柔軟な運用管理を構成しております。

02 Characteristic

04 Characteristic

事業概要-オンデマンドエコノミー修正事業-

～START～始めていただくために

LAN構築・工事

ギグワークスグループでは、電話回線、インターネット回線、室内電気工事など種類を問わずLAN構築・工事全般を技術力の高いスタッフによって日本全国で提供いたします。

システムを導入する上で必要な配線ルートの調査や、ケーブル配線、電源の確保など、工事内容は導入するシステムや建物によって、実に様々です。ギグワークスグループではオフィスなどの多種多様な施設の通信工事を数多く手掛けており、豊富なノウハウと、専門知識の高いスタッフを数多く有しております。オフィス移転やシステム導入を完成させる上で基礎となるLAN構築・工事を、迅速かつ確実に実施いたします。

また、ネットワーク機器の設定やサーバ構築などよりシステムにおける専門的な作業にも対応しております。

01

Characteristic

日本全国の登録スタッフにより47都道府県全国対応が可能です。

各地域や土日祝日など関係なく一律料金にて展開サポートが提供可能です。

様々な特性を持った人材を研修によりさらにスキルアップすると共に、技術者によく見られる技術偏重ではなく、顧客満足度を意識した教育を行っております。

02

Characteristic

弊社独自の基幹義務システムで1件毎に細かく進捗を管理しております。

さらにクライアントの担当者が状況をリアルタイムで確認できる専用の進捗確認WEBページの提供も可能です。確実かつ柔軟な運用管理を構成しております。

03

Characteristic

産業用太陽光発電システム設置

会社・工場・商業施設の屋根、有休地に太陽光発電システムを設置することにより、これまで単なるコストであった資産が定期的なプロフィットを生み出し、クリーンエネルギーを生み出すことにより地球温暖化の抑制にも貢献いたします。

太陽光パネル工事施工実績

太陽光発電設置	225kw	2016年3月竣工
太陽光発電設置	47kw	2016年8月竣工
商業施設 屋上への太陽光発電設置	12kw	2017年3月竣工

<MTエネルギー & ソリューションズ株式会社との業務提携について>

エネルギーマネジメントサービスの開始にあたり、多数の実績をもつMTエネルギー & ソリューションズ株式会社と省エネ機材の提供及び、設置工事、省エネ機材の保守メンテナンス等につきまして業務提携をしております。

MTエネルギー & ソリューションズ株式会社

事業内容	環境事業関連製品の開発・製造・販売・卸売事業 その他環境関連サービス事業
資本金	4,000万円
所在地	東京都中央区新川2-13-9 美和ビル6F
代表取締役	原田 隆朗
URL	http://mte-s.co.jp/index.html

事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

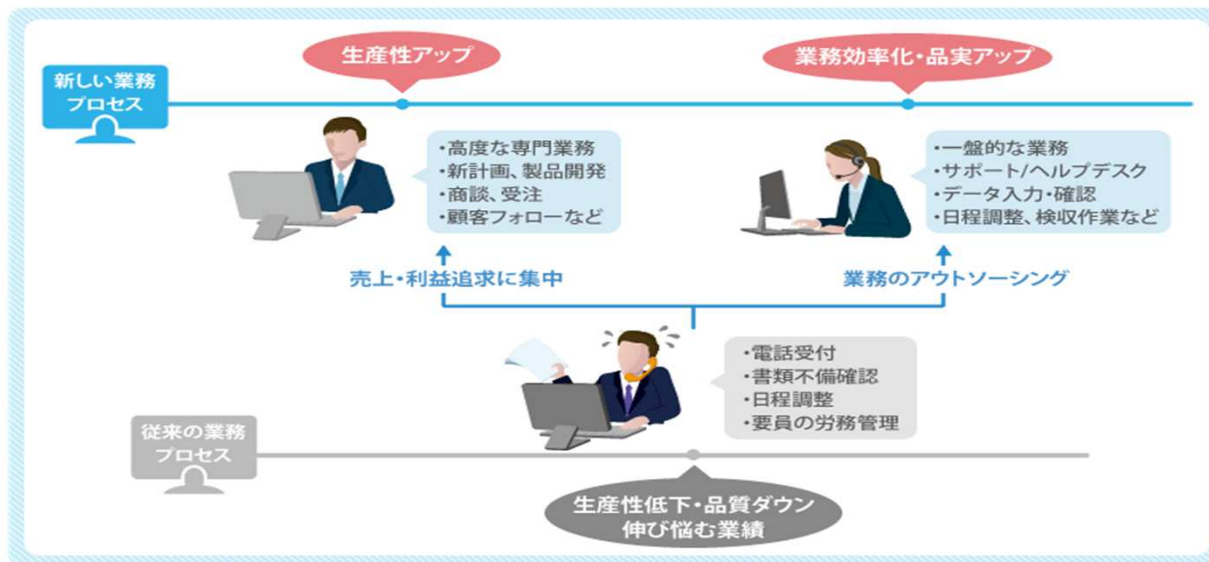
～Continue～使い続けていただくために

コンタクトセンター

情報化社会においてWebページ・ダイレクトメール・はがき・FAX・ちらしなど多くの顧客へのアプローチ方法がございます。その中でもお客様が聞きたい時に人が直接対応するコールセンター（ヘルプデスク）は、効果的な手法として営業・受付・アフターサービスなど多くのシーンで活用されております。

ギグワークスグループでは顧客からの一本一本の電話が企業にとって極めて大きな意味を持っていると考えております。電話対応が悪ければ企業イメージの損失や優良顧客が他社に乗り換えることも招きかねません。

ギグワークスグループのコンタクトセンターサービスでは多様化した消費者のニーズや企業の顔としてのコールセンター（ヘルプデスク）をサポートいたします。クライアント様の多様なご要望に合わせた既存の枠にとらわれないオーダーメイドのサービス提供を実現しております。



コンタクトセンター委託のメリット

1 正社員の生産性向上

通常業務との兼務やテレホンオペレーターの管理などから正社員を解放します。正社員の専門業務に集中できるよう負担軽減と生産性の向上を実現し、売上・利益追求を推進します。また、予算の数字が明確になり計画の透明性を高めます。

2 コンタクトセンター業務の効率化・品質向上

スキルを持ったテレホンオペレーターが対応することにより、全体の作業効率や品質を向上させます。さらに豊富な運営実績に基づくパフォーマンス管理により作業効率を向上しつつ、スタッフの離職による突発的な業務負荷などを抑制します。

事業概要-オンデマンドエコノミー事業- ～Continue～使い続けていただくために

受信・発信業務別からみるサービスライン

受信業務（インバウンド）	
お客様相談窓口	顧客からのお問合せ・意見・要望・苦情などを受け付ける電話窓口業務になります。
社内向けヘルプデスク	自社内からの技術的な問合せ・意見・要望などを受け付ける社内向けヘルプデスクも対応可能です。
受注・申し込み受付	通信販売の注文・イベントの申し込みなどの電話受付業務になります。
テクニカルサポート	購入後の商品の使い方、疑問などのお問合せや故障の際の修理方法などを電話でサポートします。
リコール・緊急対応窓口	製品・サービスのトラブル・リコール発生時の緊急対応窓口を最短時間で構築、ご提供いたします。

発信業務（アウトバウンド）	
依頼・勧誘	販売店、展示会などへの来場・来店を促進するとともに、意思確認をいたします。
採用支援	人材採用に関してセミナー・説明会などへの呼び込みや、リストのクリーニングなど実施いたします。
テレセールス	営業業務の一環として、見込み顧客へのアポイント獲得や商品の購入・契約の促進をサポートいたします。
各種電話調査	顧客満足度・製品ニーズ・アンケート調査などマーケティング・ユーザー情報をヒアリングいたします。

01

Characteristic

テクニカルサポートの充実・販売力の強化・顧客満足度の向上など
クライアントのニーズに合わせた形でのご提案が大きな特徴です。クライアント
のコールセンター設備の有無や希望する期間・席数などを柔軟かつ幅広く
対応し、オンリーワンのサービス提供を実現いたします。

02

Characteristic

電子キーによるセキュリティゾーンの設定・入退者の管理やスタッフの登録
時には機密情報保護研修が必須になっております。
また、国際的情報セキュリティマネジメント規格ISO/IEC 27001の認証を
取得しており、厳密な情報管理体制がございます。

03

Characteristic

豊富な運営実績をベースにした業務の効率化・品質向上のノウハウ
がございます。短時間のシフト勤務者を活用するなど業務ボリューム
に合わせた人員配置を行うことで、フルタイム勤務者のみで運営する
場合と比較して低コストでの運営を実現いたします。

04

Characteristic

グループ会社との連携により他社にはないトータルサポートが可能です。
導入事例：IT機器やソフトウェアの保守・訪問サポート、マーケティング
データ獲得のためシニア層へ商品のサンプリング、営業代行、量販店・販売
店向けの販売支援、その他多数ございます。

事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

コールセンター コンサルティング

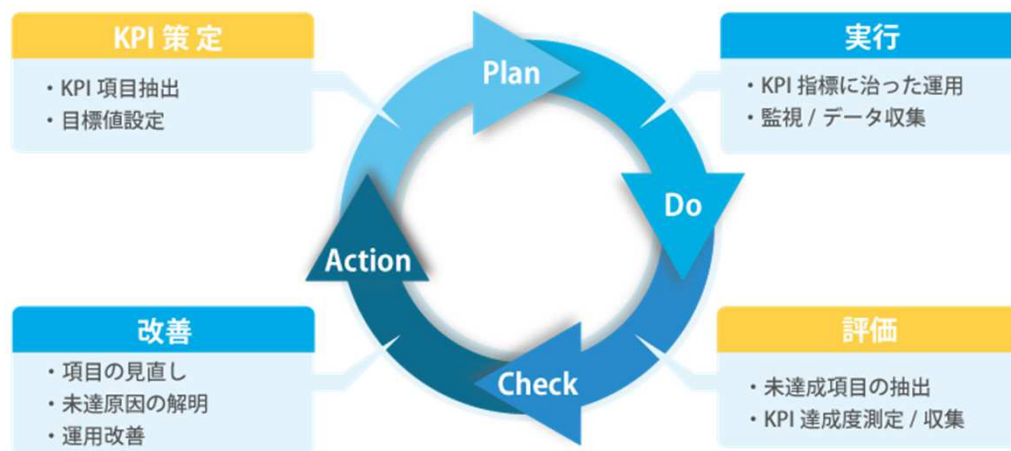
～Continue～使い続けていただくために

ギグワークスグループのコールセンターコンサルティングサポートではコールセンター（ヘルプデスク）の新規構築や既存のコールセンター（ヘルプデスク）再構築のためのコンサルティングなど貴社のニーズに合わせた様々なコンサルティングをいたします。

さらに特徴としてコールセンター（ヘルプデスク）に関わるシステム設計・業務フローの確立はもちろんのことテレホンオペレーターの採用やスキルアップ研修、実際の運用サポートまでワンストップで提供することが可能です。

PDCAサイクルによるコンサルティング

クオリティー指標（K P I）によるPDCAサイクルを実施しております。サービス全体の「目標・方針」策定からクオリティー指標に沿った運用の「実行」と定量的な「評価」、さらに「見直し・改善」を継続して行なっていくサイクルに沿ってコンサルティングを行なっております。



スキルアップ研修

ギグワークスグループでは品質と顧客満足度向上のため、役割別に段階的なスキルアップ研修を行っております。テレホンオペレーター向けには品質向上のため、トーク・テクニカル等を中心とした研修を行います。スーパーバイザー（S V）・リーダー向けには、チーム内のコミュニケーションの活性化とパフォーマンス

マンスマネジメントを目的とした研修をOJTを含むマニュアルだけに留まらない実践的な研修の構築を執り行っております。

コールセンター(ヘルプデスク)の新規構築サポート

ギグワークスグループのコールセンター(ヘルプデスク)新規構築サポートではクライアントのニーズに合わせたオーダーメイドの新規コールセンター設計が可能です。一つ一つのニーズをカスタマイズし、緻密に組み合わせていく構築は、多くのノウハウなしには難しいギグワークスグループならではのサービスです。さらにコールセンターで働くテレホンオペレーターやリーダー・スーパーバイザーなどの人材サポートも125,000人の登録スタッフと充実したスキルアップ研修によってサポートが可能です。

コールセンター(ヘルプデスク)の再構築サポート

ギグワークスグループでは既存のコールセンター(ヘルプデスク)の再構築に関するコンサルティングも貴社のニーズに合わせたオーダーメイドかつワンストップでサポートいたします。

単にコスト削減や効率化のアドバイスを行うだけではございません。コールセンター（ヘルプデスク）が貴社にとってどのような目的・役割を担っていくべきか？というサービスポリシー（目標・方針）の策定からサポートを一体にし、コールセンターのサービス改善に結びつけていきます。モニタリング（品質評価）による課題抽出から解決方法の策定とその実施までを提案する事が可能です。

事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

テレホンオペレーター派遣

～Continue～使い続けていただくために

ギグワークスグループのテレホンオペレーター派遣はインバウンド（電話受信）業務、アウトバウンド（電話発信）業務を始めとするテレホンオペレーター業務に関して即戦力として活躍できる人材をご紹介します。一般的なインフォメーション・消費者相談窓口はもちろんのこと、専門知識やノウハウの求められるテクニカルサポート・社内ヘルプデスクなども対応できるテレホンオペレーターを派遣いたします。

メリット

- ・基礎から専門までスキルを有したスタッフの活用により、電話対応の品質向上に貢献いたします。
- ・テレマーケティングに特化したチーム構築をスピーディーに実現します。
- ・コールセンター（ヘルプデスク）の立ち上げから運用までの様々な段階で採用業務を円滑にします。



クライアントのニーズに合わせて提供するサービスラインアップ

- 人材派遣/紹介予定派遣⇒テレホンオペレーター/リーダー/スーパーバイザー（S V）など
- ユニット派遣⇒スーパーバイザー（S V）やリーダーなどの管理者を含む複数名のグループでの人材派遣がユニット派遣です。スーパーバイザー（S V）・リーダーを中心にする事でチームワーク・スキル育成面により大きな成果を生み出すことが期待できます。

ユニット派遣



■ その他コールセンターサポート例

- ・コールセンターコンサルティング
- ・コールセンター委託
- ・人材派遣／紹介予定派遣
- ・スキルアップ研修／採用支援

事業概要-オンデマンドエコノミー事業-

～Use～使いやすくするために

システム開発

システムの開発の最大の利点は業務を効率化し、コストを削減することにあります。

当社は、様々な分野で培ってきた技術をいかし、お客様の業務を分析、要件定義から参加しシステム開発、単体試験、総合試験、最終的な導入後のサポートまでフルに対応いたします。

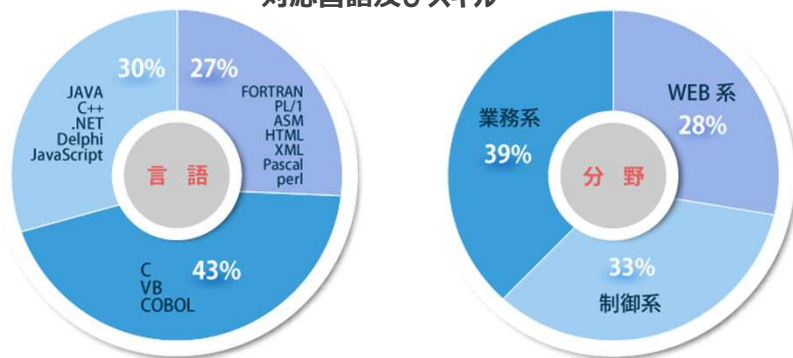
システム開発の流れ



当社は、単にシステムを開発するだけでなく、当社グループ会社との連携により、全国多拠点での同時導入、導入後の電話・メール等に関する運用支援までトータルにサポートいたします。

また、アウトソーサー特有の業務単位での簡易的な業務管理ツールの開発なども迅速に対応いたします。

対応言語及びスキル



エンジニア派遣

当社は受託開発サービスにて経験を積んだシステムエンジニア、プログラマーをはじめとし、インフラ関連の技術を保持するネットワークエンジニア、社内システム等のテスト、運用、ヘルプデスク要員等を必要な時に、必要な人数のみを提供するエンジニア派遣サービスを提供いたしております





システム開発

ギグワークスクロスアイティの提案はお客様との対話から始まります。お客様が問題をお抱えの際には最善の解決方法をお客様の理想を実現するシステムをお探しの際には、最短のシステム構築への道のりを、対話の中から導き出します。ヒアリングの後、システム解析、コンサルティング提案、改善提案と続き、お客様の将来の事業展開を踏まえた上で、一歩踏み込んだ先行く提案を心掛けています。

さらに、ギグワークスクロスアイティは単にソフトウェア開発をしているだけではなく、綿密な開発プロジェクト計画の元で進められる開発を確実なものにするため、各種の工程管理と品質管理を行っています。お客様に納品されたシステムが、後における効果判定から保守活動にいたるまで、システムが安全に当たり前に機能し続けることに全力を注いでおります。お客様のご要望に応えることができるよう、ギグワークスクロスアイティでは開発要員の教育・訓練・人材の育成にも努めております。



セキュリティ水準や品質管理の向上を重要な施策と考えており、プライバシーマーク、ISO/IEC27001、ISO9001を取得しております。またIPAの「SECURITY ACTION」にも登録し、自発的な情報セキュリティ対策を推進しています。

自社商品のご紹介

■コールセンター向けCRMシステム

導入実績 250社7000席以上

デコールCC.CRM 3は、利便性を徹底的に追求しているコールセンター向けのCRMシステムです。電話・メール・FAX・Web・チャット等のマルチチャネルに対応し、充実のセルフカスタマイズ機能で、コールセンターの現場の運用をサポートします。



■デコールシリーズの新しいラインナップ

短期間・低価格で電話窓口業務を強力にバックアップするクラウドサービス「デコールCRM Lite」、モバイルを活用してフィールドサポート業務を支援する「デコールField Support」、シンプルかつ確に営業活動を支援する「デコールSFA」といった新しいラインナップをクラウドサービスで提供します。

デコール CRM Lite

デコール Field Support

デコール SFA



デコール CTI Base



事業概要-シェアリングエコノミー事業-

～START～始めていただくために

シェアオフィス等の提供

ギグワークスグループでは、これまでの枠にとらわれないワークスペースを提供することにより、新しいアイデア・技術を構築できる“場所”を提供しています。

シェアオフィス

少数精鋭の起業家のビジネス発展のために、様々なワークスタイルとビジネスにマッチングするオフィスと各種オンデマンドエコノミーサービスをご提供しています。ビジネス成功の要素として、機能性は勿論、信用力を向上させる一等地のアドレス、P R 効果の高いオフィスデザイン、そしてお得なサービスを必要に応じて利用することで貴社にとってオンリーワン・オフィスとなります。



バーチャルオフィス

実際にオフィスを借りることなく、ブランド力あるオフィスの住所を利用して登記や郵便物の受取り、また必要に応じて会議室やビジネスブースなどのワークスペースの利用もできます。さらに、電話やFAX等の便利なオプションサービスの利用で毎月わずかな費用で、オフィスを借りているのと同等の機能を持つことができます。

わずかな費用で（月額3,000円～）、HPでの住所利用、登記、受付に社名表示、企業間のマッチングなどのサービスを受けることができます。



フリーデスク

オフィスの住所利用（登記可）と合わせて、オフィス内に設置の個室型のビジネスブースとラウンジ（一部の施設のみ）が使い放題。インターネットやコピー機も使えるので、SOHOやフリーランスの方は勿論、本社機能としても充分にご活用いただけます。

ローコストでも、費用対効果抜群の当社イチ押しのお得なプランです。

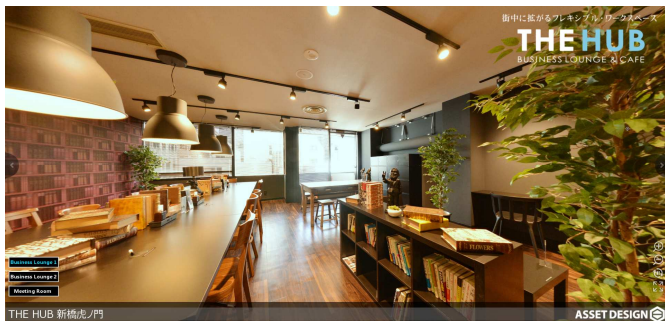


シェアリングエコノミー強化で成長



これまでの枠にとらわれないワークスペースを提供することにより、

新しいアイデア・技術を構築できる“場所”を提供する



「全国初」！！ シェアオフィスで社食開始

～利用者向け特典として社食サービス「みんなの食堂」を導入～

1食400円で提供開始

「The Hub」の展開状況について

・人手不足が叫ばれ、多様な働き方が存在する現代においては、労働者それぞれが自己の能力を活かせる環境を提供することが、市場の活性化につながると当社では考えています。さらに、IT技術の進歩により、雇用といった既存の枠にとらわれない働き方がこれまで以上に求められるものと考えます。

そこで、これまでの枠にとらわれないワークスペースを提供することに取り組み、フリーランスやアントレプレナーの育成を推進します。労働者が利用できる“場所”を提供することで、自由な発想のもと、新しいアイデア・技術を今まで以上に構築できるものと考えます。

当社子会社である株式会社アセットデザインが、シェアリングエコノミー事業として提供するシェアオフィス・コワーキングスペースの利用企業は、アセットデザインが2000年にサービスを開始して以来予想を上回るペースで増え続けており、全国に50拠点超・利用企業20,000社以上となりました。

働き方の多様化が進む昨今、企業のオフィスにおけるニーズも多様化しています。今回新たに提供する「スマートオフィス」プランによって、企業それぞれの働き方に合わせたオフィス環境を低価格でスグに導入することができます。2021 年度中に 100 拠点を整備し、より利用価値の高いワークスペースを提供してまいります。

事業概要-シェアリングエコノミー事業-

美容業界に新風！キュレーションサロン 「nex the salon（ネックス・ザ・サロン）」

海外・国内の有名美容室で活躍のスタイリストが集結

「最新ヘアケアの提供」と「一流のスタイリストを育成」する協創サロン

■住所：東京都港区南青山5-11-5住友南青山ビルB1F



Copyright © GiG Works Inc. All rights reserved.

、「一流技術×技術習得時間の短縮×最高水準の報酬」という3つの万能感を揃えた“協創・協働のプラットフォームとなるサロン”を創り、キュレーター視点でプロの美容家を支援・輩出し、「独立するより成功できるハイエンドサロン」の出店いたしました。「nex」は、美容やファッションの先端エリア・表参道から、「美容業界の問題解決・プロフェッショナルの育成・最新テクノロジーを取り入れた美容サービス」を融合した革新的サロンとして業界に風穴を開けてまいります。

●超有名店の一流技術を集約

ニューヨーク・ロンドン・国内のサロンからTOPスタイリストが集結。技術力を融合し、その技術を効率的に継承していくカリキュラムにより、一流技術者を育成。

●世界初・テラヘルツ機能水の毛髪復元テクノロジー

テラヘルツ波を含む機能水で髪の毛の分子を活性化・ハイドレーション（補水）し、さらに11種類のトリートメント材を組合せ、毛髪の最深部から補給・補修する「最上級の毛髪復元トリートメント」を実施。素髪以上の髪質改善を目指し、日常ケアまでのプログラムも提供。

●成功するためのサロン

美容師のスペシャリストを育成する、そして美容師として成功（最高水準の報酬）させることがキュレーションサロンの目的です。「独立＝店を持つ＝成功」という方程式以外のキャリアプランを実現します。

■サロンについて

品質や成分も安全や効果にこだわり抜いた商材のみ、最先端テクノロジーの美容機器を使用し、その場だけでなく、デイケアまで意識した美しさ・スタイルを提案します。また、アセットデザインが監修した内装は、サロンとは思えないほどの美しさを体現し、特別なサロンタイムを過ごして頂けます。

- ・経営理念／美容サービスにおける唯一無二のカタリストに。
- ・ビジョン／最も愛される美容のサービスコミュニティに。
- ・バリューは「成長と挑戦」。

その実践において「スピード・ロジック・オンリーワン」の3原則を行動指針として、nexは前に進みます。



ギグワークスグループの戦略

～GIG ECONOMYのPlatformerを目指して～

ギグワークスグループの戦略 新たなる挑戦

通販事業者のLTV向上を支援する グループ間シナジーから生まれた新サービス

インバウンド及びアウトバウンドコンタクトセンターの連携による新規注文受付から購入後のリピート促進コールを通販事業者向けにパッケージ化

通販LINKS は、当社子会社であるギグワークスアドバリュー株式会社のサービスを活用した、通販事業者における業務を総合的にサポートするサービスで、2017年7月19日に提供を開始いたしました。これまで通販事業者は新規注文受付、定期訴求、解約抑止コール、アップセルコール、リピート促進コールなどの業務をインバウンド事業者とアウトバウンド事業者へ別々に依頼することが一般的でしたが、当社グループは東京、大阪、福岡、北九州、熊本の5拠点にて670席を超える自社のインバウンド及びアウトバウンドコンタクトセンターを運営していることより、受電業務にて顧客の離脱周期や理由などを分析し、発信業務で解消する施策を取るなど顧客のステータスに合わせた機能的かつシームレスな連携と管理が可能となり、LTV※の向上が期待出来ます。

※LTV(Life Time Value)：一人の顧客が
取引期間を通じて企業にもたらす価値

ユーザー



インバウンド及びアウトバウンドの
機能的かつシームレスな連携



通販事業者



通販LINKS

それぞれのサービスを1つにパッケージ化



インバウンドコール

- ・新規注文受付
- ・定期訴求
- ・解約抑止



アウトバウンドコール

- ・定期引上アウトコール
- ・定期継続フォローコール
- ・休眠ユーザー掘り起し

当社グループは、インバウンド及びアウトバウンドコンタクトセンターの機能的連携を活用した

通販LINKS により、通販顧客の継続的利用の促進を通じて通販事業者のLTV向上を支援して参ります。また、2020年までに通販事業者からの売上10億円を目指し、今後お客様への新しい価値あるサービスの提供に努めてまいります。

ギグワークスグループの戦略 新たなる挑戦

AIデータマイニング解析を活用した「データ解析LINKS」の提供開始

株式会社シーズファクトリー（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：田邊隆介）が提供するAIデータマイニング解析ツール「GOLDEN LIST power by bodais」を活用し、通販事業者向けのアウトバウンドテレマーケティングによるCRM強化支援を行う新たなサービス「データ解析LINKS」の提供を開始いたしました。

当サービスは通販事業者が実施する既存顧客に対する各種アプローチ展開において、AIデータマイニング解析により最適なターゲットに最適なタイミングでアウトバウンドを行なうことで、アウトバウンドコールの成約率の向上、LTV※1の最大化が見込めるようになります。

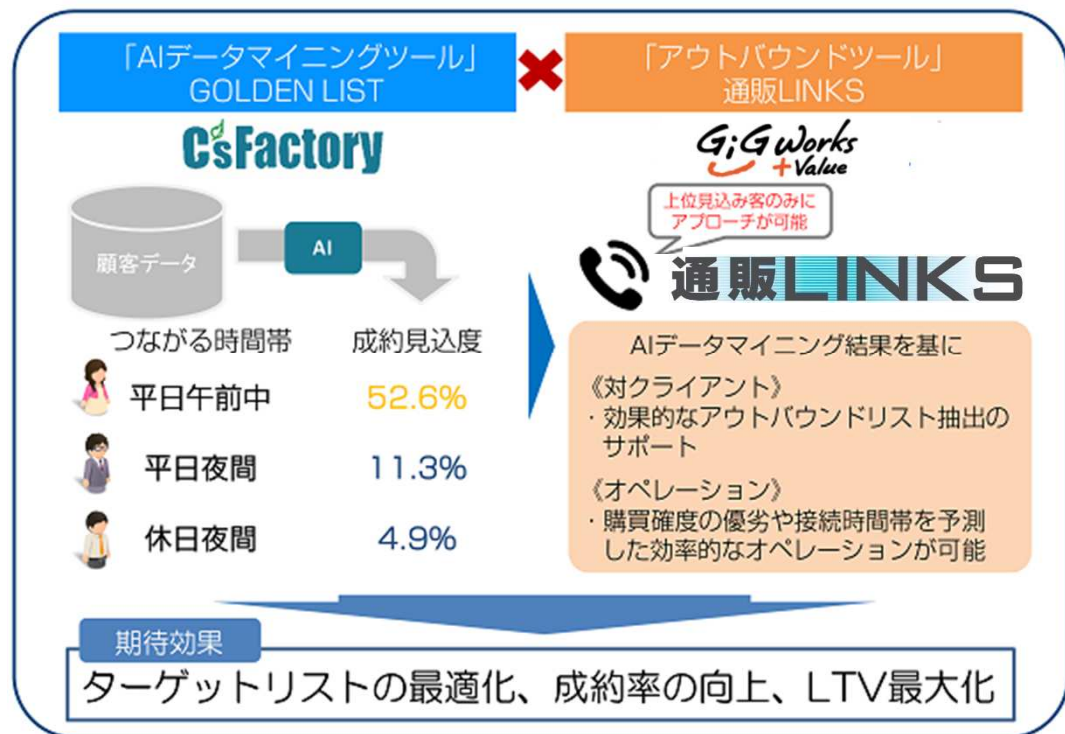
通販事業運営においては、新規顧客獲得と並行して、既存顧客との継続的な取引とその関係構築が重要とされています。今日のIT技術革新によりAI、ビッグデータなどの最新の技術を用いたサービスは世界的にも急速に浸透してきており、CRMにおいて更なるテクノロジーの活用が見込まれます。従来、RFM分析※2によって顧客分析を行うことが主流でしたが、過去のデータから顧客ごとに購入見込度でスコア付与するAIデータマイニング解析により、購買に繋がりやすい順に重点的アプローチを行うことで効果的なアウトバウンドコールが可能になります。

当社グループは、通販事業者向けのアウトバウンドテレマーケティングによるCRM強化支援の新たなサービス「データ解析LINKS」を提供することで、今後もお客様への新しい価値あるサービスの提供に努め、通販事業者のLTV向上を支援して参ります。

※1 LTV(Life Time Value)：一人の顧客が取引期間を通じて企業にもたらす価値

※2 RFM分析：Recency(最新購入日)、Frequency(購入頻度)、Monetary(購入金額)の3つの指標で顧客を分類する方法

◆データ解析 LINKS



ギグワークスグループの戦略 新たな挑戦

Join-Repo

工事施工業者向け総合工事管理システムを汎用パッケージ化 Join-Repo の提供開始

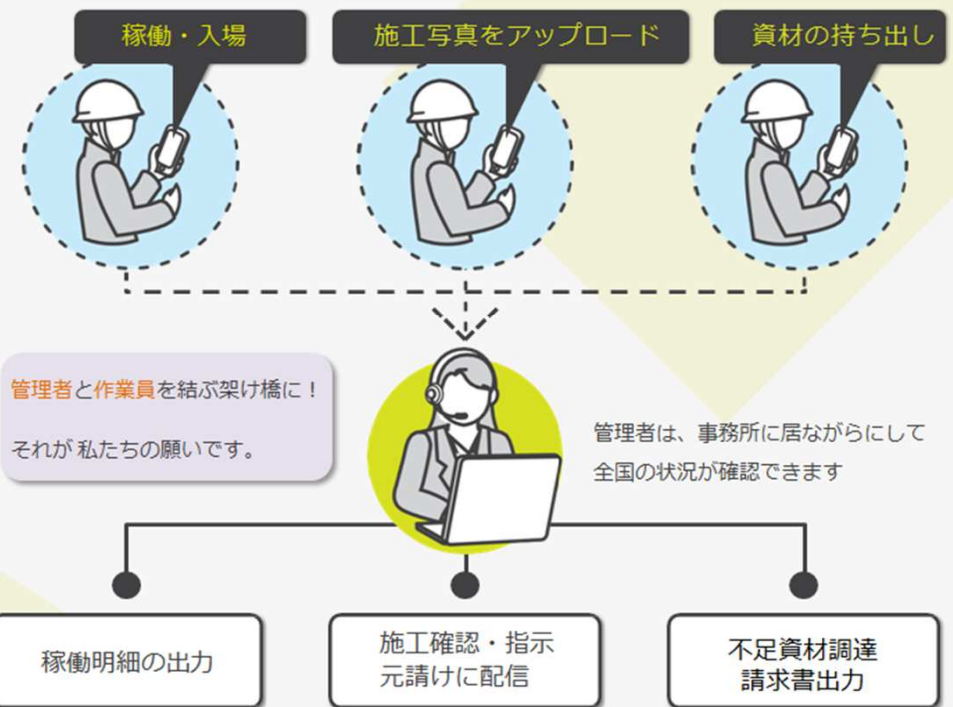
管理者と作業者を繋ぐ工事施工業者向け総合工事管理システムの開発と提供

当社子会社であるギグワークスクロスアイティ株式会社において、2017年8月1日、新たな商品 **Join-Repo** の提供を発表いたしました。**Join-Repo** は工事施工業者の一日の作業報告をベースに「安全」「施工」「稼働」「教育」「資材」の5つの重要なファクターの一連の流れをシステム化し、それぞれの状況を遠隔地から一括管理することが可能なシステムです。本システムは、これまで紙ベースで行われていた作業者の一日の報告や資材の持ち出し申請、安全面の周知などをシステム化して作業者からの報告をリアルタイムに管理者まで報告することで、施工確認・指示、不足資材の調達、元請けへの配信など状況に応じたスムーズな対応が可能となります。

Join-Repo の主な特徴は以下の通りです。

- ◆安全管理 トラブル発生時に状況を即時に共有、情報報告を全て記録することで事故情報の集計や安全啓蒙活動に活用可能
- ◆施行管理 写真での施工確認により、リアルタイムでの是正対応や確認作業が可能
- ◆稼働管理 現場作業者の稼働状況やシフト、稼働実績をシステム上で管理可能
- ◆教育管理 e-Learningによる研修により、個々の作業者が高い水準の作業が可能
- ◆資材管理 材料の出入庫フローをシステム化することで棚卸業務の簡略化が可能となり、在庫状況の共有化、日々の増減の把握、在庫金額の確認、コスト管理が可能
材料の使用率のモニターをすることが予測が立てやすく、過剰注文や過剰在庫の予防によるコストの削減が可能

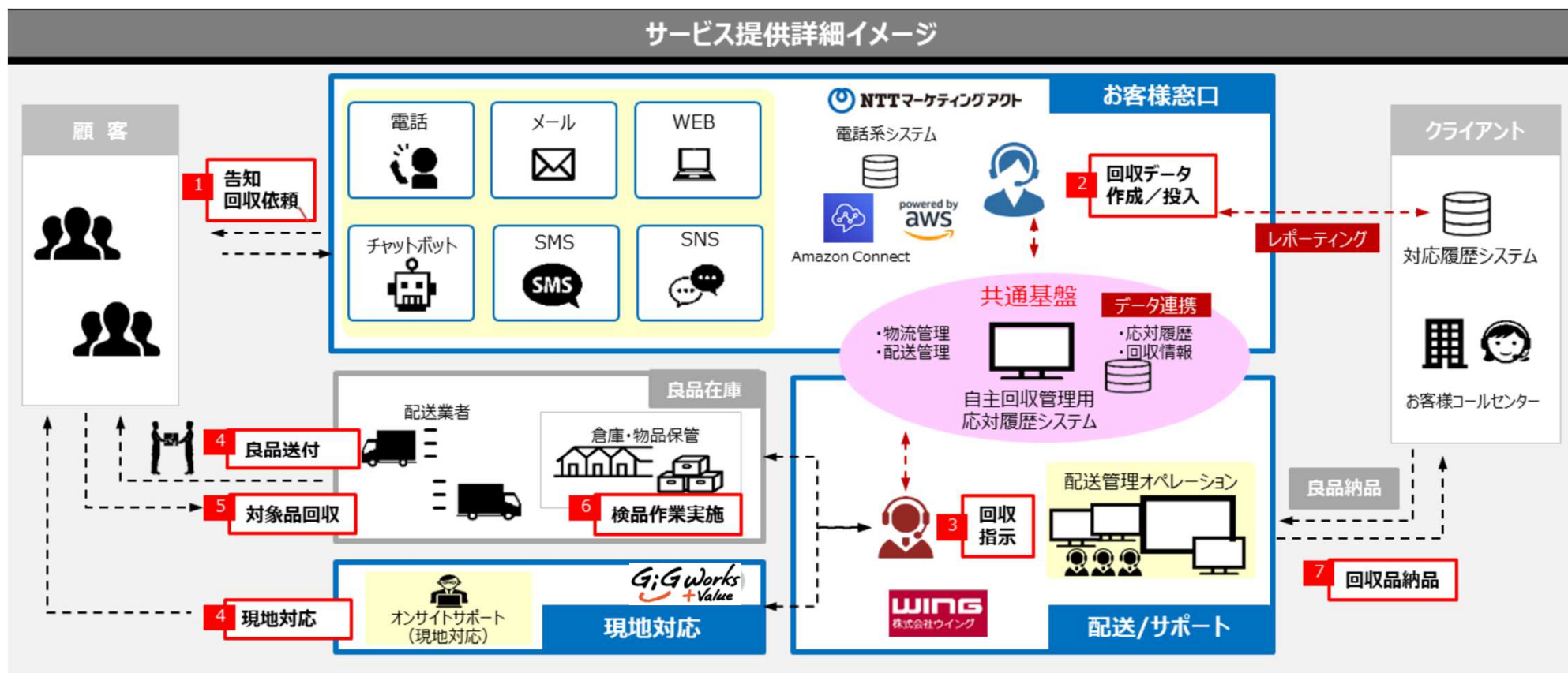
サービスイメージ



ギグワークスグループの戦略 新たな挑戦

緊急対応・リコール向けパッケージ『ワンストップ アシスト』を提供開始～緊急事態発生時に緊急窓口から現地サポートまでワンストップで提供～

『ワンストップ アシスト』は、NTT西日本グループのNTTマーケティングアクトが企業の緊急対応時に短時間で立ち上げる「緊急お客様窓口」と、ウイングの「往復便ソリューション」と、ギグワークスアドバリューの「全国オンサイトサポート」を統合し、一連業務をワンストップで効果的に提供することで緊急時の課題解決をサポートします。



ギグワークスグループの戦略 新たなる挑戦

株式会社アセットデザイン（当社子会社）と藤田観光株式会社の 新宿ワシントンホテル、東京ベイ有明ワシントンホテルとの業務提携

当社子会社である株式会社アセットデザインは、2019年10月25日、ホテル椿山荘東京等のラグジュアリー施設の運営およびワシントンホテルのブランドで全国に高付加価値のビジネスホテルを展開している藤田観光株式会社（東証1部：9722、以下、「藤田観光」）との間で、ホテル内におけるシェアオフィスの運営やホテル内サービスの提供・ホテル開発に関する業務提携契約を締結いたしました。

1. 藤田観光が運営するワシントンホテル等内に併設するシェアワークスペースでのアセットデザインの独占的な運営権の獲得
2. シェアワークスペースに限らず、ホテル内スペースの有効活用についてのノウハウの共有
3. 共同による既存ホテルのワークラウンジ併設ホテルへの転換

まずは、藤田観光の旗艦ホテルである「新宿ワシントンホテル」、「東京ベイ有明ワシントンホテル」内に、シェアワークプレイス「THE HUB」を出店し、アセットデザインで運営いたします。

ワシントンホテルの強みである継続利用のビジネスマンだけでなく、近年利用者が大幅に増加しているインバウンド顧客をターゲットにしたラウンジを設けるなど、100室以上のビジネスホテルでは初のワークスペース付きホテルとして、より快適で魅力的な居場所の提案をまいります。

「ヘアサロンnexから新時代“令和”のヘアケアとアンチエイジング」

カラーやパーマのダメージはもちろん、梅雨の湿気のお悩みや紫外線ダメージとおさらば！

世界初！※1特許技術を利用した【毛髪復元水プログラム】が始まる！

世界特許を取得している成分により、髪の毛のダメージやエイジングの原因である「酸化」を抑え、髪や頭皮を若返らせます。

エイジングやダメージしたヘアは、髪の毛の水分量は10%以下。

特許技術で髪に水分を直接入れ込むことで、水分量は20%にまでUPし、髪質・髪年齢を大改造！



ギグワークスグループの戦略

日本最大級の個人事業主データベースの構築

当社は、日本最大級の個人事業主データベースの構築を目指します。

On-Demand-Economy

- 時間、スキルを活用

Sharing-Economy

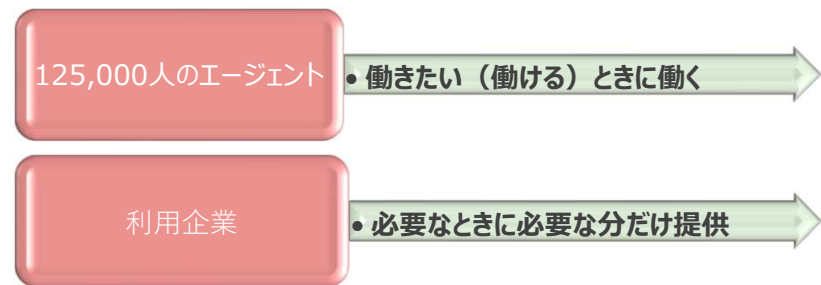
- 働く場所、ノウハウを提供



- 個人事業主は、働きたいときに必要なだけ働くことができ、時間、スキルを有効に活用できます。
- 企業は、データベースにアクセスすることで、必要なときに必要なだけ業務を委託することができます。
- 企業は、データベースをうまく活用することで、必要とするスキルを持つ人材を、うまく選び出すことができます。
- 当社は、働く場所、ノウハウを個人事業主に提供することで、個人事業主のスキルアップに貢献します。

オンデマンド/シェアリングサービス

様々なサービスを、オンデマンド/シェアリングで提供します。



当社は1996年当初からパソコンサポートサービスを皮切りにオンデマンドサービスを提供し続けてきました。今後もそのノウハウを生かしつつ、オンデマンドエコノミー／シェアリングエコノミーで様々なサービスを提供することで、新しい働き方を提案いたします。

必要なときに働く

- ・IoT基地局の敷設工事
- ・スマートシティ化
- ・IoT家電などの販売支援
- ・機器のサポート

必要なときに利用する

- ・Co-WorkingSpace
- ・シェアオフィス
- ・起業支援サービス
- ・教育サービス



ギグワークスグループの基本方針

ギグワークスグループの基本方針

企業行動指針

～「あるべき未来に向かって、為すべきをなす」～

当社グループは、変化の激しい社会において、日々革新するテクノロジーの発展とサービスを融合提供することにより、人々の生活を豊かにする支援を行い、その中で新たな“働き方”を提案することで、「夢」を目指す人材を支援し、多様な視点で相互に認めるダイバーシティ社会の実現を目指します。そのため、下記掲げる企業行動指針のもと取り組んでまいります。

1. プロフェッショナルなサービスを提供すること

ギグエコノミーのプラットフォームを目指し、成長が見込める新規事業分野に、積極的投資してまいります。また、お客様のサービス満足度を向上させるため、プロフェッショナルなサービスを提供するとともに、自部署のみならず社内外の業務プロセスを常に見直し、業務効率の改善、不要なプロセスの削減に努めます。

2. 情報を適正に取り扱うこと

すべてのステークホルダーの利益のため、個人情報をもとより法人情報、機密情報も含め適正管理し、保護いたします。また、不正競争防止法、個人情報保護法、番号法等を遵守し、「セキュリティポリシー」「プライバシーポリシー」を定め、当社グループの取り組みを開示してまいります。

3. 国内外の取引において公正、透明、自由な競争を行うこと

ビジネスパートナーを尊重し、独占禁止法、不正競争防止法等を遵守し、取引において、公正で透明、自由な競争を行います。また、腐敗を防ぐため、国内外において賄賂（企業が事業を行う中で、不正、違法、または背任にあたるような行為を引き出す誘因として、いずれかの人物から贈与、融資、謝礼、報酬その他の利益を供与または受領すること）及びそれに類する疑わしい行為、強要はいたしません。

4. 安全と健康を確保すること

事業継続のためには、何よりも社員の安全と健康が重要と認識し、「安全衛生方針」「健康経営基本方針」を定め、疾病を含めた健康管理を行い、同時に業務災害の撲滅、防災対策の強化、残業時間の抑制に努めます。

5. 人権、多様性を尊重し、ゆとりと豊かさを実現すること

「ダイバーシティ推進宣言」「女性活躍推進宣言」を定め、性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観等にとらわれず、人権を尊重し、強制労働・児童労働を廃し、公平かつ公正な多様な個性を生かした組織を作ります。また、地方や途上国、恵まれない人々への支援を行います。

6. 環境保全への取り組みを行うこと

地球環境の保全のため、「環境ポリシー」を定め、社内外でLED・ペーパーレス化、及び環境に優しい技術の普及を促進いたします。

7. 持続可能で健全な収益を確保すること

ビジネスパートナーを含め、長年に渡って持続可能で健全な適正利益を確保いたします。また、本指針に反する行為を、社員やビジネスパートナーに強要しないとともに、一切加担いたしません。

8. 透明性をもって、速やかな開示を行うこと

すべてのステークホルダーと積極的に対話し、企業情報をわかりやすくコーポレートガバナンス報告書や統合報告書を通じて公開し、理解と信頼を得る努力をいたします。また、財務をはじめ経営全般にかかる企業情報は、ネガティブ情報も含め、適時開示し、説明責任（アカウンタビリティ）を果たします。

9. 反社会的勢力排除に取り組むこと

反社会的勢力やテロ組織との取引、及びマネーロンダリングには一切与しません。また、公益社団法人警視庁管内特殊暴力防止対策連合会に加入するとともに、反社会的勢力等の情報共有に努めます。

10. 法令を遵守すること

法の支配を促進するため、国内外におけるあらゆる法令を遵守し、高い倫理規範をもって行動します。また、内部通報窓口を設置するとともに、法令・倫理・社内規程違反行為が発覚した場合には、コンプライアンス委員会を開催し適切に是正いたします。



ギグワークスグループの基本方針

ギグワークスグループ 我々の責任

我々の第一の責任は、我々のサービス及びプロダクトを利用してくださるクライアント、エンドユーザーをはじめとする、すべての顧客に対するものであると確信する。

顧客一人ひとりのニーズに応えるにあたり、我々の行うすべての活動はその効果及び品質において高い水準のものでなければならない。

我々は価値を提供し、コストを引き下げ、適正な価格を維持するよう常に努力をしなければならない。

顧客からの注文には、迅速、かつ正確に応えなければならない。

我々のビジネスパートナーには、適正な利益を上げる機会を提供しなければならない。

我々の第二の責任は、世界中で共に働く全社員に対するものである。

社員一人ひとりが個人として尊重され、受け入れられる職場環境を提供しなければならない。

社員の多様性と尊厳が尊重され、その価値が認められなければならない。

社員は安心して仕事に従事できなければならない、

仕事を通して達成感と目的意識を得られなければならない。

待遇は公正かつ適切でなければならない、

働く環境は清潔で、整理整頓され、かつ安全でなければならない。

社員の健康と幸福を支援し、社員が家族に対する責任および個人としての責任を

果たすことができるよう、配慮しなければならない。

社員の提案、苦情が自由にできる環境でなければならない。

能力ある人々には、雇用、能力開発及び昇進の機会が公平に与えられなければならない。

我々は卓越した能力を持つリーダーを任命しなければならない。

そして、その行動は公正、かつ道義にかなったものでなければならない。

我々の第三の責任は、我々が生活し働いている地域社会、更には全世界の共同社会に対するものである。世界中の多くの場所で、働きたい人がより安全かつ安心して働ける社会を実現できるよう

支援しなければならない。

我々は良き市民として、有益な社会事業及び福祉に貢献し、健康の増進、教育の発展に寄与し、適切な租税を負担しなければならない。

我々が使用する施設を常に良好な状態に保ち、環境と資源の保護に努めなければならない。

我々の第四の、そして最後の責任は、会社の株主に対するものである。

事業は健全な利益を生まなければならない。

我々は新しい考えを試みなければならない。

新しい技術に関する研究開発は継続され、革新的な企画は推進され、将来に向けた投資が行われ、失敗は償わなければならない。

新しい設備を購入し、新しい施設を整備し、新しいサービス及びプロダクトを市場に導入しなければならない。逆境の時に備えて蓄積を行わなければならない。

我々は株主に対して、適正な還元をしなければならない。

これらすべての原則が実行されてはじめて、すべてのステークホルダーの利益に貢献できるものと確信する。



ギグワークスグループの基本方針

C S R 基本方針

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～

当社は、変化の激しい社会において、日々革新するテクノロジーの発展とサービスを融合提供することにより、人々の生活を豊かにする支援を行い、その中で新たな“働き方”を提案することで、「夢」を目指す人材を支援し、多様な視点と相互に認めるダイバーシティ社会の実現を目指します。そのため、下記に掲げる3つの行動指針のもと、C S R（企業の社会的責任）に取り組んでまいります。

I フリーランス、アントレプレナーを支援すること

以下の取り組み等を通じて、外部の人材を育成し、もって社会の利益に貢献してまいります。

- ・事業活動・情報交換の場として、「レンタル・スペース」「コワーキング・スペース」を提供します。
- ・法人化・事業計画策定・業務支援、進捗状況管理やフォローアップを行います。
- ・業務を委託することで、ビジネスの機会を提供します。
- ・専門知識習得のために、研修等を実施します。
- ・就職保証型学生起業家支援プログラム『ProSpace』により、失敗が許されない日本において、失敗を前向きに捉え、その経営経験を活かして活躍する場所を提供し、社内からもベンチャー企業を輩出するような企業風土の醸成を図ります。

II 一人ひとりに合ったスタイルで働くことができる優れた労働環境を提供すること

以下の取り組み等を通じて、労働者それぞれが自己の能力を活かせる環境を提供し、もって社員の豊かな生活に貢献してまいります。

- ・SDGs推進委員会を設置し、ダイバーシティ推進宣言のもと、多様な人材が、その能力を最大限発揮できる機会を提供します。
- ・「安全衛生方針」「健康経営基本方針」を定め、労働者の安全・健康に最大限留意します。

III 社会貢献すること

以下の取り組み等を通じて、国内外の社会に貢献します。

- ・再生可能エネルギーの普及に尽力します。
- ・地域社会や恵まれない地域への教育、活性化に努めます。
- ・最終利益の1%を、貧困の撲滅や人々が生きるための食物、飲料水、医療費の確保のために寄附いたします。



ギグワークスグループの基本方針

ダイバーシティ経営の推進

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～

我々は、事業の推進において、ダイバーシティ経営が必要不可欠なものと考え、その推進に取り組むことを宣言しています。

我々は、BPO事業及びコワーキングスペース事業において、日々革新するテクノロジーの発展とサービスを融合提供することにより、人々の生活を豊かにする支援を行い、その中で新たな“働き方”を提案しています。

テクノロジーが急速に進展するなか、多様な市場のニーズを的確に捉え、持続可能な成長を実現するためには、従業員一人ひとりの多様性及び多様な働き方を認め、一人ひとりが働きやすい環境を提供すべきと考えます。

よって、国籍、年齢、性別、性的指向（LGBT）や障がいの有無等にかかわらず、一人ひとりが働きやすい職場環境を整えます。

～「ダイバーシティ推進委員会」から「SDGs推進委員会」へ～ 2018年4月

当社では、2017年7月、「女性活躍推進委員会」を「ダイバーシティ推進委員会」に変更し、そのなかでダイバーシティ経営及び女性活躍の推進に取り組んでまいりましたが、ダイバーシティだけでなく、SDGs（＝Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標）推進に取り組むため、「ダイバーシティ推進委員会」を「SDGs推進委員会」に変更いたしました。

このなかで、持続可能な社会の実現に向け、ダイバーシティ推進を含めて取り組みを進めてまいります。

ダイバーシティ推進宣言

当社グループは、多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、新たな価値を創出すべく、下記に掲げる3つの行動指針に基づき、ダイバーシティ経営を推進することを宣言いたします。

1 多様な人材を活かすこと

性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観等の多様性だけでなく、キャリアや経験、働き方等の多様性を含め、幅広い人材が活躍できる企業を目指します。

2 多様な人材が、その能力を最大限発揮できる機会を提供すること

SDGs推進委員会を設置し、以下の取り組み等を通じて、労働者それぞれが自己の能力を最大限発揮できる機会を提供いたします。

- ・取締役会等の経営層に、多様な人材を登用し、柔軟な経営判断を実現いたします。
- ・管理職に対して、研修等を通じ、多様な人材を活かすことのできるマネジメントへの意識を醸成いたします。
- ・管理監督者の人事考課の際、ダイバーシティ経営推進のための取組み度合いを反映させます。
- ・全労働者に対し、ダイバーシティ経営への理解を深めるための研修等を行います。
- ・全労働者に対し、それぞれが自己に合ったキャリアプランを作成できるよう研修等を行います。
- ・多様な人材がその能力を発揮できるよう、人事制度及び多様なキャリアパスを構築いたします。
- ・テレワークや在宅勤務制度、時短勤務制度等、勤務時間や勤務場所の柔軟化を図り、労働生産性の向上に努めます。
- ・労働生産性の向上を通じ、法定時間外労働の削減に取り組みます。

3 新たな価値を創出すること

1.及び2.の取組みを通じ、ギグワークスグループとしてイノベーションを生み出し、新たな価値の創出に努めます。



ギグワークスグループの基本方針

～「一人ひとりが夢を実現できる社会を目指して」～

女性活躍推進宣言

ギグワークスグループでは、従来から数多くの女性が活躍してきました。女性社員の能力の活用は企業の発展にとって必要不可欠であり、意欲ある女性が活躍し続けられる組織づくりが今後もより重要であると、日を追うごとに痛切に感じています。男女の固定的な役割分担意識はあってはなりません。引き続き、性別にとらわれない能力発揮の定着を目指してまいります。

一方、女性は、子供を産むという男性にはできない貴重な能力を有しています。同時に生物学的身体機能の差ゆえの、女性ならではの疾患も存在しています。このような性差によって、女性はともすれば仕事と生活を両立させることが困難になることがあります。産後休業は母体の安全にとって欠くことのできないものであり、これが理由で職場に復帰できないことがあってはなりません。ギグワークスグループでは、産後休業後の復帰プランを誠実に立案するとともに、本人希望による配置転換や、時短勤務、小学校前の子供がおられる社員の男女を問わない育児休暇及び介護休暇の取得を可能にしております。

また、多くの男女が同じ職場にいれば、ともすればセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントなどの心無い暴力が起きかねません。ギグワークスグループでは、社内研修を通じて、このようなハラスメントの禁止を徹底して教育し、防止するとともに、ハラスメントや健康保持・増進やメンタルヘルスに関する相談窓口を設置し、気軽に相談できる体制を構築することで、女性が安心して活躍できる職場にしております。

すでに、グループ会社において、経済産業省及び東京証券取引所より女性活躍推進に優れた上場企業である証として「なでしこ銘柄」の選定を受けておりますが、引き続き、この基準を満たし、また向上させていくことを、ここに宣言いたします。



ギグワークスグループの基本方針

安全衛生方針

安全衛生活動は、企業経営の基盤であり、当社および子会社で働く人及び地域社会の安全・健康に及ぼす影響を最小限となるよう企業活動の中で安全衛生管理を徹底し、自負できる職場を目指します。

- 1 弊社グループの健康管理最高責任者をギグワークス株式会社代表取締役社長村田峰人とします。
- 2 安全衛生関係法令及び各事業場において定めた安全衛生に関する規程を遵守し、より一層の安全衛生管理に努めます。
- 3 職場の危険有害要因の明確化と対策の優先度を定めるリスクアセスメントを実施し、“災害ゼロ”から“危険ゼロ”の安全で快適な職場づくりを推進します。
- 4 過重労働及びメンタルヘルスによる健康障害を防止するため、安全衛生管理体制の充実を図り、全エージェントの健康確保対策を推進します。
- 5 全エージェント及び関係請負人とのコミュニケーションを図り、全員参加の安全衛生活動を実行していきます。
- 6 労働安全衛生マネジメントシステムに関する社員教育を通じて、安全衛生意識の高揚に努めます。
- 7 安全衛生活動の実行にあたっては安全衛生委員会を活用し、適切な経営資源を投入し、労働安全衛生マネジメントシステムの効果的な改善を継続的に実施します。



ギグワークスグループの基本方針

健康経営基本方針

社員の健康保持・増進に取り組む目的

ギグワークスグループでは、「我々は社会の発展、健康の増進、教育の改善に寄与する活動に参画しなければならない。」とクレド「我々の責任」の中で定めています。

社員の健康は、言うまでもなく会社の発展にとって欠かせない要素です。心身ともに充実してこそ、業務で最高のパフォーマンスを発揮することができます。また、社員の家族の健康もまた、安心して業務に取り組むことのできる礎となります。ここに、ギグワークスグループは、当グループ全社員及び家族の皆様の健康の維持、向上に努めることを宣言いたします。

PDCAサイクルを実施するための体制整備

CWO（チーフ・ウェルネス・オフィサー）として、私、村田峰人が就任いたしました。CWOは、安全衛生委員会に積極的に参加し、活発な意見交換、健康に関するデータの把握/分析・計画立案・施策実施・評価・改善を通じて、健康経営を強化・牽引してまいります。また、安全衛生委員会は産業医及び健康保険組合と積極的に連携し、執行役員会・取締役会へ適宜報告することで、全社的な健康経営施策を実施してまいります。

取組体系及び具体的な取組内容

1 更なる法定外時間外労働の削減

当グループ全体では、平均月間法定外時間外労働時間数は4.5時間以内となっています。引き続き業務効率化により削減していくとともに、すべての社員が8.0時間を超えて業務を実施することがないよう法定外時間外労働管理を徹底してまいります。

2 メンタルヘルスの向上

メンタルヘルスの向上のため、従業員満足度調査における健康保持・増進、メンタルヘルス相談窓口の周知状況率を90%以上にし、同時に社員の会社に対する健康向上の取組に関する満足度を80%以上とするよう取り組んでまいります。

3 健康診断受診率の向上

引き続き、一般健康診断受診率を100%とするよう取り組むとともに、特定業務従事者健康診断受診率を昨年より向上させてまいります。

4 適切な運動による体力の維持・向上

5 健康的な食への取り組み

以上の目標を達成するために、2020/2021年度については下記の取り組みを実施してまいります。

- 1 業務の効率化のためのプロセスの見直し、クライアントとの交渉システム開発、研修の実施等による能力の向上、適切な人員配置等を行ってまいります。また、時間外労働が多い社員に対する面談を毎月実施するとともに、管理職の評価項目として、自部署の時間外労働時間の削減を取り入れます。
- 2 健康保持・増進、メンタルヘルスの相談窓口を改めて周知するとともに、正社員、準社員等に対して社内クラブ活動における補助費を支給してまいります。



ギグワークスグループの基本方針

健康経営基本方針

- 3 正社員、準社員等に対し、本人及び家族の健康診断及び半日人間ドック（４０歳以上の場合は１日人間ドック）を会社負担で受診できるようにいたします。又、３カ月以上雇用されている生物学的な女性社員に対しては婦人科検診を会社負担にて義務付けます。さらに、弊社施設内勤者及びその家族全員のインフルエンザワクチン接種についても全額会社負担で行ってまいります。
- 4 すべての社員の平均月間法定時間外労働時間を６０時間以内とするとともに、努力目標として４０時間以内とするよう業務効率を向上させてまいります。
- 5 運動・食への取り組みのためのセミナーの開催、休憩時間以外にスポーツタイム・シェスタタイムを設置

2019年より、新たにすべての社員の平均月間法定時間外労働時間を原則０時間とする目標を掲げるとともに、コアタイムのないフレックスタイム制の運用を開始いたしました。

環境ポリシー

基本理念

当社は、良き企業市民として企業活動と地球環境との調和を目指し、一人ひとりが環境へのやさしさを優先して行動します。

行動指針

- 事業活動の全域で、省資源、省エネルギーの推進に努めます。
- 環境保全に適合した製品の購入及び販売の促進に努めます。
- 環境方針を全従業員へ周知するとともに、環境管理教育及び啓発に努めます。

管理体制

環境管理責任者・内部監査員をおき、環境マネジメントシステムの改善に努めます。

環境目的	環境目標
省エネ	消費電力の削減
省資源	コピー用紙の削減、トナー使用量の削減
廃棄物削減/リサイクル推進	分別廃棄の促進



ギグワークスグループの基本方針

人材派遣事業行動指針

人材派遣事業を実施するにあたり、以下を行動指針といたします。

- 1 当社エージェントと企業の皆様を結びつける人材派遣事業の社会的役割を自覚し、プライバシーポリシーに基づき、派遣社員の個人情報と派遣先企業に関する情報の保護に十分留意しつつ、当社としての特性を活かし労働市場の需給調整に貢献いたします。
- 2 派遣社員の人格、個性を尊重し、安心・安全で働きやすい環境を確保するとともに、キャリア形成を支援いたします。
- 3 事業に関する情報の開示に努め、広く社会とのコミュニケーションを行い、透明性の高い事業運営を行います。
- 4 人材派遣事業の運営に携わるすべての社員が法令遵守を徹底し、派遣に関する法令・契約を遵守しない派遣先企業には厳正な態度で臨んでまいります。

ギグワークス㈱では、厚生労働大臣による「優良派遣事業者」の認定を受けています。「優良派遣事業者」とは、法令を遵守しているだけでなく、派遣社員のキャリア形成支援やより良い労働環境の確保、派遣先でのトラブル予防など、派遣社員と派遣先の双方に安心できるサービスを提供できているかどうかについて、一定の基準を満たした派遣事業者をいいます。信頼ある派遣会社として、派遣社員及び派遣先企業様に対し、よりいっそう貢献できるよう尽力してまいります。

2015年7月10日
代表取締役社長
村田 峰人



人材紹介事業行動指針

人材紹介事業を実施するにあたり、以下を行動指針といたします。

1 経営の基本姿勢

- (1) 人材紹介事業の公共性を自覚し、その社会的使命に基づく経営を行います。
- (2) 求人者、求職者の視点に立った経営を行います。
- (3) 業務の適正運営とサービス向上を常に心がけ、人材紹介事業の信頼性を高める経営を行います。
- (4) 従業員の資質やモラルが特に重要であることを認識して、従業員の教育研修を充実すると共に、労働環境、福利厚生の上昇に努めます。

2 コンプライアンス（法令遵守）

- (1) 人材紹介事業の社会的責任の重要性を自覚し、法令遵守を徹底します。
- (2) 商業倫理、社会通念、国際慣行等にも配慮し、社会的良識に基づいた事業運営を行います。

3 情報開示

法令で定めるもの以外についても、積極的に情報開示を行い、透明性の高い事業運営を行います。

4 社会貢献

- (1) 人材紹介事業の特性を活かして円滑な労働移動に寄与し、我が国経済の発展に貢献いたします。
- (2) 求人者等の需要に柔軟に対応し、人材採用、再就職支援等を通じて、その円滑な企業経営に寄与いたします。
- (3) 求職者の要望に応じて、民間企業の特性を活かした就業支援を行うことにより、働く者の生活向上に寄与いたします。

5 人権・人格の尊重 人にかかわる業務であり、常に人権尊重の精神で事業運営を行います。

6 個人情報と求人者情報の管理

- (1) プライバシーポリシーに基づき、人材紹介事業における個人情報と求人者情報の保護の重要性を自覚して、その収集、保管を行い使用します。
- (2) セキュリティポリシーに基づき、情報漏えいの内外にもたらす影響の重要性を認識して、防止策を講じるなどの事業運営を行います。

7 公正競争

自由にして公正な競争が人材紹介事業の発展につながることを認識して、競争原理に基づいた事業運営を行います。

財務状況報告



Copyright © GiG Works Inc. All rights reserved.

2020年度 方針

継続的成長と高収益体質の実現

イノベーション（成長戦略）

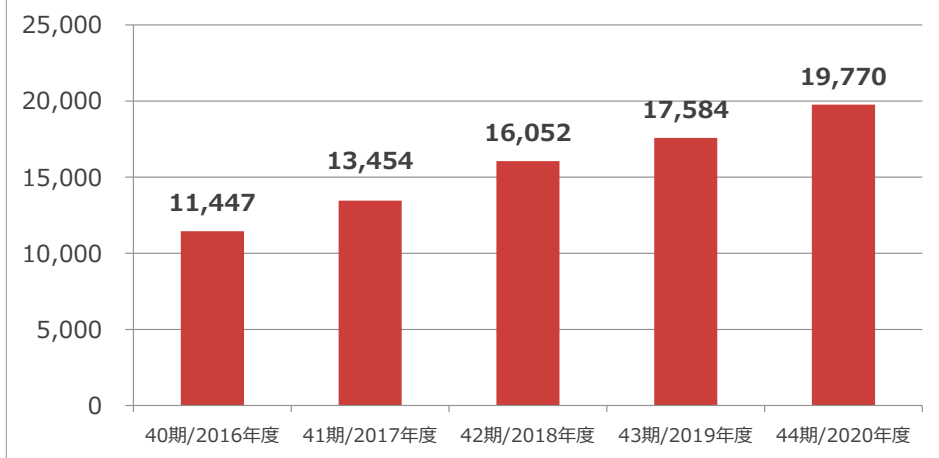
- 各サービスのパッケージ化
- 新規事業開発
- M & Aによる成長
- 海外事業の確立

コスト・リダクション

- 更なるIT促進による生産性の向上
- 販売費及び一般管理費の適正化
- 働き方改革に合わせた施策

財務状況ハイライト

5カ年売上高推移（百万円）



当連結会計年度における事業別売上高及びセグメント利益

オンデマンドエコノミー事業

オンデマンドエコノミー事業の売上高：172億64百万円（前連結会計年度比10.3%増）

セグメント利益：19億23百万円（前連結会計年度比22.0%増）

シェアリングエコノミー事業

シェアリングエコノミー事業の売上高：25億57百万円（前連結会計年度比27.0%増）

セグメント利益：69百万円（前連結会計年度比58.8%増）

当連結会計年度における売上高及び営業利益

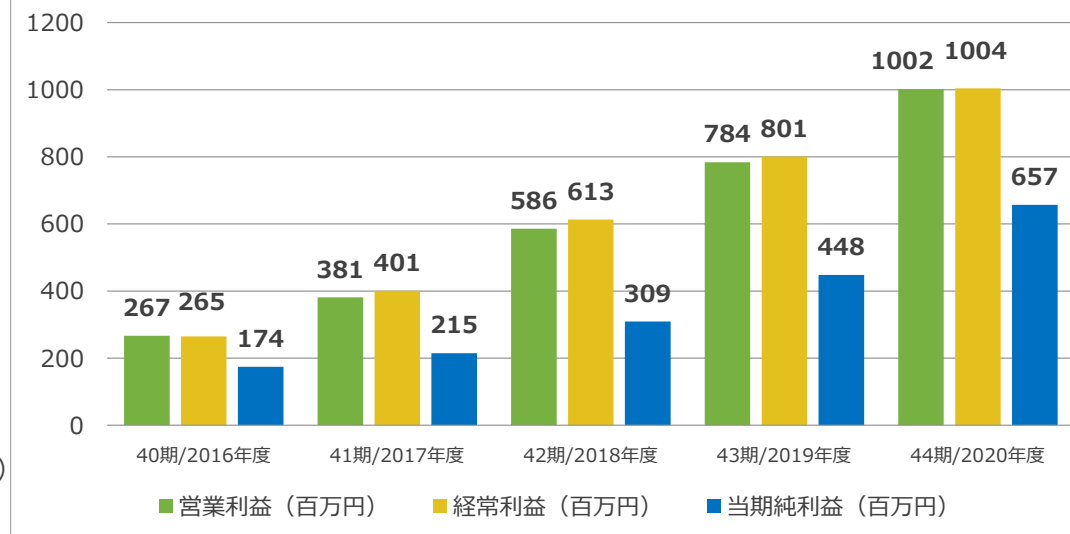
グループ全体

売上高：197億70百万円（前連結会計年度比12.4%増）

営業利益：10億2百万円（前連結会計年度比27.8%増）

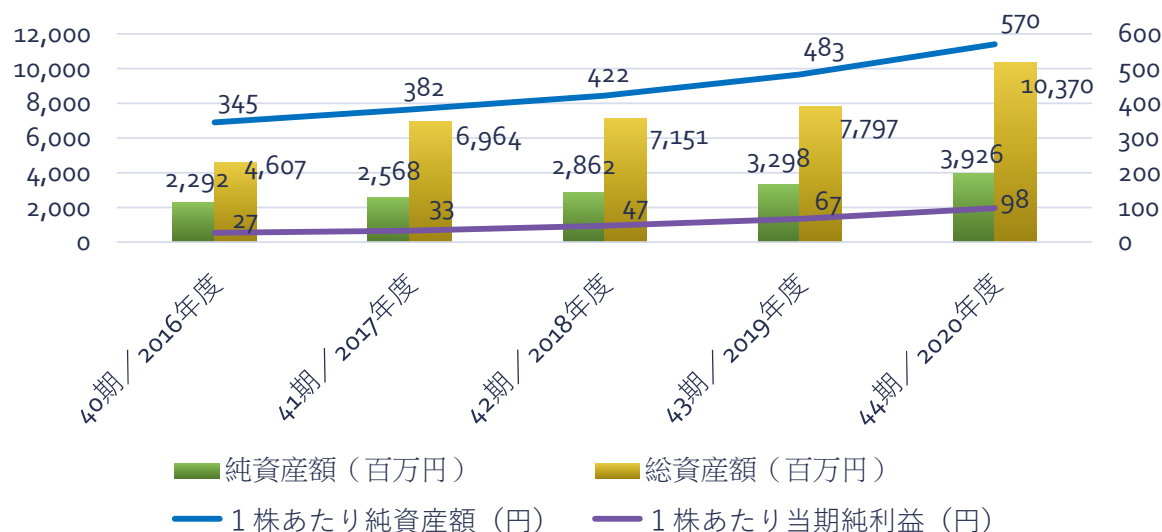
経常利益：10億4百万円（前連結会計年度比25.4%増）

5カ年利益推移

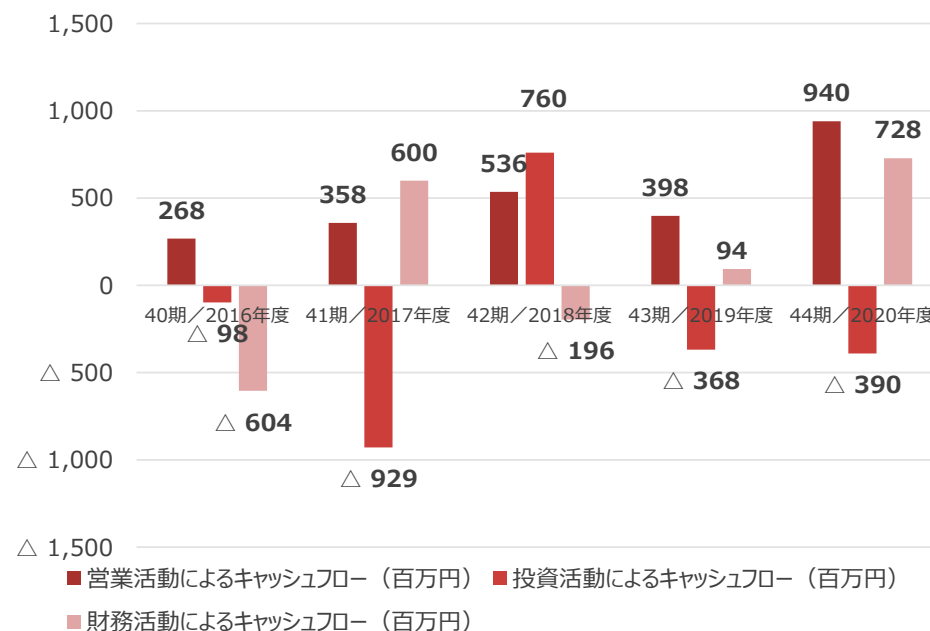


財務状況ハイライト

5カ年資産等推移



5カ年キャッシュフロー推移



2021年10月期の当社グループの業績見通しにつきまして、以下のように見込んでおります。

2021年10月期の連結業績見込 (2020年10月1日～2021年10月31日)

%表示は、通期は対前期、
四半期は対前年同四半期増減率

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期 (累計)	13,000	41.6	850	91.1	850	90.1	500	85.2	74.22
通期	24,000	21.4	1,200	19.7	1,200	19.4	700	6.5	103.91





株式状況 (2019年10月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	28,400,000株
発行済株式数	普通株式	7,282,570株
株主数		4,330名

大株主情報（上位10名）

株主名	所有株式数
村田ホールディングス株式会社	781,305株
SPRING INVESTMENT株式会社	627,005株
SPRING株式会社	613,885株
ギグワークス株式会社	546,138株
株式会社日本カストディ銀行	365,600株
株式会社大塚商会	360,000株
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES	320,000株
CES	253,100株
MSIP CLIENT SECURITIES	235,900株
コロンブス（従業員持株会）	173,400株

コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づく開示

原則 1 – 4 いわゆる政策保有株式

1. 政策保有の基本方針

当社は、当社との間の取引拡大が期待できるなど中長期的に当社の企業価値の向上に資する企業との関係強化を目的として保有しております。しかしながら、ビジネスメリットのない株式については売却をすることとし、保有銘柄については適宜見直しを行っております。

2. 政策保有株式に係る議決権行使基準

当社は、保有先企業との取引上の関係や対話をもとに、当該企業の個別状況を踏まえた上で、当該企業の中長期的な企業価値の向上の観点から判断を行い、議決権を行使いたします。

原則 1 – 7 関連当事者間の取引

当社では関連当事者間の取引（取締役の競業取引、当社および当社子会社の取締役と会社間の取引、主要株主と会社間の取引）

を行う際は、独立社外取締役を含む取締役会において実際の個別取引にかかる承認および報告を行っております。

原則 3 – 1 情報開示の充実

(2)コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方と基本方針

(3)取締役の報酬を決定するに当たっての方針と手続

報酬額の決定にあたっては、経営環境及びグループ全体の業績の動向、長期的な企業価値の増大を図るために有益な人材を確保できる報酬の水準等を勘案し、代表権の有無やそれぞれの取締役の職務と責任、並びに功績の評価を反映したものとしております。

報酬額の決定の手続きとしては、独立社外取締役からの客観的な意見を踏まえ、取締役会にて決定しております。

(4)取締役・監査役候補者の指名の方針と手続

役員候補者については、人格、見識に優れた者を候補者とすることを基本方針とし、特に社外取締役は会社経営、財務・会計、法律、世界情勢等の知見を、社外監査役は財務・会計、法律、世界情勢、リスク管理等の知見を有する人材を選定し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図っております。役員候補者は取締役会の決議により決定しておりますが、事前に社外取締役に役員候補者の推薦理由、略歴等を説明し、意見を勘案して決定いたします。

(5)経営陣幹部の選任と取締役・監査役候補の指名を行う際の、個々の選任・指名についての説明
社外役員候補者については個々の指名理由を株主総会招集通知に記載しております。

コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づく開示

補充原則 4－1－1 経営陣に対する委任の範囲

当社の取締役会は、会社の持続的な成長および中長期的な企業価値の向上のため、適法、迅速に重要事項(経営計画や経営戦略、M & A、組織再編、重要な財産の処分・譲受け、多額の投融資等)に対する意思決定を行っております。

また、取締役会の決議事項については当社取締役会規定に具体的に定めており、職務権限規程において経営陣が執行できる範囲を明確にしております。

原則 4－8 独立社外取締役の有効な活用

当社では、東京証券取引所の定める独立役員の資格を満たす独立社外取締役を3名選任しており、取締役会における独立した中立な立場での意見を踏まえた議論を可能にしています。

原則 4－9 独立社外取締役の独立性判断基準および資質

当社では、東京証券取引所の定める独立性の判断基準と同一の基準を定め、それに従い独立社外取締役を3名選任しており、取締役会における独立した中立な立場での意見を踏まえた議論を可能にしております。

補充原則 4－11－1 取締役会のメンバーのバランス・多様性・規模に関する考え方と取締役の選任に関する方針・手続

当社は、取締役会の構成について、年齢、性別、技能その他取締役会の構成の多様性を考慮するとともに、当社の事業規模に応じた適切な員数とする方針です。

補充原則 4－11－2 社外役員の兼任状況

当社は、取締役・監査役が他の会社の役員を兼任する場合には、その者が当社の役員業務を遂行できることを条件として選任し、各期事業報告において主要な兼任状況を毎年開示しております。

第43期（2019年10月期）定時株主総会招集ご通知（P 50～55）に記載。

https://www.gig.co.jp/wp/wp-content/uploads/2020/02/200114_convene.pdf

補充原則 4－14－2 取締役・監査役に対するトレーニングの方針

取締役、監査役および執行役員を対象に、当社の事業に関する監督・監査機能を果たすために必要な法令・コンプライアンス研修を適時実施しております。

また、各社外取締役及び社外監査役に対し、適宜、当社の企業理念やグループ事業の内容等について周知を行っております。

原則 5－1 株主との建設的な対話に関する方針

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目的に、代表取締役社長が経営戦略や事業計画についてプレゼンテーションを行う経営懇談会を実施することにより、投資家と建設的な対話を行っております。

また、WEBサイト等において適時、必要な情報を開示しております。



コーポレートガバナンス・コードの各原則を実施しない理由

補充原則 1－2－4 議決権の電子行使を可能とするための環境作り

当社では、機関投資家や海外投資家の比率が相対的に低いことに鑑み、現在、議決権電子行使プラットフォームの利用や招集通知の英訳を行っておりませんが、今後の各比率の推移を踏まえて実施の要否を検討してまいります。

原則 3－1 情報開示の充実

(1) 経営理念等や経営戦略、経営計画

経営理念につきましては、当社ホームページに掲載しております「企業理念」を参照ください。

(<https://www.gig.co.jp/company/philosophy/vision>)

経営戦略につきましても、2020年6月15日開催の「2020年10月期第2四半期決算説明資料」のプレゼンテーション資料を参照ください。(https://www.gig.co.jp/wp/wp-content/uploads/2020/06/gigworks_FY202010_2Q_Results.pdf)

経営計画につきましては、中期事業計画等の策定を検討しておりますが、IT業界はスマートデバイスをはじめテクノロジー変化の速度が速く、必ずしも中期的な業績予想を発表する事が株主の適切な判断に資するものではないとの認識から、開示を行っておりません。

ただし、開示の必要性については引き続き検討してまいります。

補充原則 3－1－2 英訳での開示

当社の株主構成を鑑みて、一部英文のwebサイトを開設しております。その他、各種の開示文書、招集通知については、今後の外国人株主比率等の推移を踏まえて実施の要否を検討してまいります。

補充原則 4－11－3 取締役会の実効性に関する分析、評価の方針

当社の取締役会は、社外取締役3名を選任し、取締役会としての判断や会議の運営など、取締役会全体の実効性を担保するよう努めております。実効性の分析・評価については、今後検討してまいります。取締役5名のうち過半数の3名を社外取締役にする事で取締役会の透明性確保に努めております。

原則 5－2 経営戦略や経営計画の策定・公表

当社の事業は、IT環境及びIT関連機器からの影響を受ける事業を主体としております。

IT業界ではスマートデバイスをはじめテクノロジー変化の速度が速く、中期的な業績予想し、発表することが必ずしも株主の適切な判断に資するものではないとの認識から、数値目標の開示を行っておりません。

ただし、開示の必要性については引き続き検討してまいります。



内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

1. 取締役、使用人、並びに子会社の取締役等及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

(1) 当社は、コンプライアンス体制の基礎として、当社及び子会社全社を対象とするコンプライアンス規程を制定し、代表取締役社長がその精神を役職者をはじめ当社及び子会社の全役員及び全使用人に継続的に伝達することにより、法令と社会倫理の遵守を企業活動の原点とすることを徹底する。

(2) 当社の代表取締役社長は、取締役管理本部長をコンプライアンス全体に関する総括責任者として任命し、総括責任者を委員長とする当社のコンプライアンス委員会が、当社及び子会社のコンプライアンス体制の構築・維持・整備にあたる。

(3) 当社及び子会社の取締役会は、取締役会規程に基づき、法令・定款及び株主総会決議に従い、経営に関する重要事項を決定すると共に、取締役の職務執行を監督する。また、定期的にコンプライアンス体制を見直し、問題点の早期把握と改善に努める。

また、当社及び子会社の取締役は、法令・定款・取締役会決議及びその他社内規程に従い、職務を執行する。

(4) 当社の監査役会は、監査役会規程・監査役監査基準に基づき、当社の執行役員会・当社及び子会社の取締役会への参加等を通じて、

取締役の職務執行状況を監査する。また、当社の監査役会は、内部監査室と連携し、コンプライアンス体制の調査、法令・定款及び社内規程上の問題の有無、並びに各業務が法令・定款及び社内規程に準拠して適正に行われているかを調査し、取締役会及び執行役員会に報告する。

(5) 当社は、使用人が法令・定款及び社内規程上疑義のある行為等を認知し、それを告発しても、当該使用人に不利益な扱いを行わない旨等を規定する、当社及び子会社全社を対象とする内部通報規程を制定すると共に、当該規程に基づき、外部弁護士を窓口とする内部通報窓口を設ける。

(6) 当社及び子会社は、取締役や使用人に対する継続的な啓発行動を行うため、企業倫理研修等を実施する。

(7) 職務執行の公平性を監督する機能を強化するため、当社取締役会に独立した立場の社外取締役を含める。

2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

当社は、取締役の職務執行に係る情報については、情報資産保護基本規程・文書管理規程に基づき、その保存媒体を通じて適切かつ確実に検索性の高い状態で保存・管理することとし、文書管理規程で規定した保存期間は閲覧可能な状態を維持する。

3. 当社及び子会社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

(1) 当社及び子会社は、業務執行に係るリスクを認識し、その把握と管理、個々のリスクについての管理体制を整える。

(2) 当社は、リスク管理体制の基礎として、当社及び子会社全社を対象とするリスク管理規程を定め、個々のリスクについての管理責任者を決定し、同規程に従ったリスク管理体制を構築する。

(3) 当社の監査役会及び内部監査室は、子会社を含む各部門のリスク管理状況を監査し、その結果を取締役に報告する。



内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

（４）当社の取締役会及び執行役員会は、定期的にリスク管理体制を見直し、問題点の把握と改善に努める。

（５）当社及び子会社は、不測の事態が発生した場合には、当社の代表取締役社長又は代表取締役社長が指名する執行役員を本部長とする対策本部を設置し、必要に応じて顧問弁護士等を含む外部アドバイザリーチームを組織して迅速な対応を行い、損害の拡大を防止し、これを最小限に止める体制を整える。

４．当社及び子会社の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

（１）当社及び子会社は、取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、取締役会規程に基づき取締役会を適時に開催するほか、必要に応じて適宜臨時に開催するものとし、当社の経営方針及び戦略に関わる重要事項については執行役員会において議論を行い、その審議を経て取締役会で執行決定を行う。

（２）当社は、取締役会の決定に基づく業務執行については、当社及び子会社全社を対象とする組織規程、業務分掌規程、職務権限規程において、それぞれの責任者及びその責任、執行手続の詳細について定め、子会社各社はそれを遵守して業務執行を行う。

５．当社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制、子会社の取締役等の職務の執行に係る事項の当社への報告に関する体制

（１）当社及び子会社は、人材面、資金面、情報統制面における統制環境を整備し、当社の執行役員が当社及び子会社の管理・指導を行う「担当 執行役員制度」を設け、担当執行役員は執行役員会規程・執行役員規程に基づき、担当各社の使用人に対して、内部統制方針の理念に従い、統制環境の整備、啓蒙その他必要な指導を行う。

（２）当社の代表取締役社長は、定期的に執行役員会を開催し、当社及び子会社の業務適正判断、各社の統制環境の整備、啓蒙その他必要な指導を行う。

（３）当社及び子会社は、相互連携を推進し、積極的な事業拡張と事業基盤の拡充に伴う諸問題に対応するため内部統制に係る社内規程の整備・運用を行い、また職務権限規程を適宜見直し、重要な事項の意思決定に当社の関与を求めるほか、当社監査役が子会社監査役と連携して監査業務を実施し、当社及び子会社における業務の適正を確保する。

（４）当社は、関係会社管理規程に基づき、子会社の自主性を尊重しつつ、当社における承認事項及び当社に対する報告事項等を明確にし、その執行状況を当社の執行役員会にてモニタリングする。

６．監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

（１）監査役が必要とした場合、監査役の職務を補助する使用人（以下、「補助使用人」という）を置くものとする。

（２）補助使用人の任命、異動、評価、懲戒は監査役会の同意を得て行うものとし、補助使用人の取締役からの独立性を確保する。



内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

7. 監査役の職務を補助すべき使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

- (1) 補助使用人が、監査役に同行して、取締役会その他の重要な会議に出席する機会を確保する。
- (2) 補助使用人が、監査役に同行して、代表取締役社長や会計監査人と定期的に意見交換できる機会を確保する。
- (3) 取締役及び使用人は、補助使用人の業務が円滑に行われるよう、監査環境の整備に協力する。

8. 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制、子会社の取締役、監査役、業務を執行する社員、会社法第598条1項の職務を行うべき者その他これらの者に相当する者及び使用人又はこれらの者から報告を受けた者が監査役に報告するための体制、その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- (1) 取締役及び子会社の取締役及び使用人等は、当社及び子会社が定める規程に基づき、当社及び子会社の業務又は業績に影響を与える重要な事項について、適時に監査役会に報告する。
- (2) 前項にかかわらず、監査役会はいつでも必要に応じて、当社及び子会社の取締役、監査役、執行役員及び使用人等に対して報告を求めることができる。
- (3) 当社及び子会社は、内部通報規程の適切な運用、内部通報窓口の整備により、法令違反その他のコンプライアンス上の問題について、当社の監査役会への適切な報告体制を確保する。
- (4) 当社の監査役会は、代表取締役社長及び会計監査人と定期的に意見交換を行う。又、必要に応じて顧問弁護士の助言を受けることができる。

9. 前項で報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

- (1) 監査役は、取締役、使用人、及び内部通報窓口から得た情報について、みだりに第三者に開示しないものとする。
- (2) 当社及び子会社は、内部通報規程において、取締役及び使用人等が、監査役に対して報告を行ったことを理由として不利な取扱いを受けない旨を定める。
- (3) 監査役は、報告をした使用人の異動、人事評価及び懲戒等に関して、取締役にその理由の開示を求めることができる。

10. 監査役職務の執行について生じる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生じる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項

当社は、監査役がその職務の執行について生ずる費用の前払又は支出した費用等の償還、負担した債務の弁済を請求したときは、これに応じる。

11. 財務報告に係る内部統制

当社は、財務報告の信頼性を確保する観点から、財務報告に係る内部統制の整備・評価を実施し、監査役会、取締役会及び執行役員会に報告し、取締役会及び執行役員会は財務報告に係る内部統制の継続的な改善を図る。



ディスクロージャーポリシー

1. ディスクロージャーの方針

ギグワークス株式会社は東京証券取引所の定める適時開示規則(以下「適時開示規則」)に沿ってディスクロージャーを行っています。また当社では会社説明会での発表内容等、適時開示規則に該当しない情報についても、投資家の需要に応えるべくできるだけ積極的かつ公平に開示する方針です。

2. 情報の開示方法

適時開示規則に該当する情報の開示については、東京証券取引所への事前説明の後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet）にて公開されます。開示情報の当社ホームページへの掲載に関しては、特別な開示情報を除いて、TDnetへの公開手続き完了後速やかに実施します。なお、掲載準備の都合上、これら情報のホームページへの掲載時期が大きく遅れることもあります。また、適時開示規則に該当しない情報を開示するに当たっても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により、できるだけ正確かつ公平に当該情報が一般の投資家に伝達されるよう配慮します。

3. 情報開示をお断りする場合

当社では、競争優位上あるいは守秘義務契約上、特定の情報に関するお問合せにお答えできない場合があります。また、未公開の重要事実については一切言及をお断りいたします。

4. 将来の見通しについて

当社では、東京証券取引所に提出する収益予想に加えて、投資家や証券アナリストの皆様が自ら当社の業績に関する予想を立てられるよう、見通しに関するガイダンスを提供する場合があります。また、決算説明会、質疑応答、当社の発行する書面等には、現在の計画、方針、見通し、戦略等が含まれる場合があります。

上記いずれの場合におきましても、歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。最終の業績は経済情勢、社会情勢等外的要因等により、これらの見通しと大きく異なる結果となることがあります。従いまして、当社の業績、企業価値等を検討されるに当たりましては、これらの見通しのみに全面的に依拠されることはお控えくださいますようお願いいたします。

5. 沈黙期間について

当社は決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算期日の翌日から決算発表日までを沈黙期間としています。この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを差控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく外れる見込みが出てきた場合には、開示規則に従い適宜公表することとしております。



会社概要



ギグワークス株式会社
ギグワークスアドバリュー株式会社
ギグワークスクロスアイティ株式会社
株式会社アセットデザイン
ギグワークス・アドバンス株式会社

2020年2月1日に、以下の組織再編等を実施しました。

スリープロ株式会社を存続会社として、WELLCOM IS株式会社及び株式会社JBMクリエイトを吸収合併し、ギグワークスアドバリュー株式会社に商号変更

オー・エイ・エス株式会社を存続会社として、ヒューマンウェア株式会社を吸収合併し、ギグワークスクロスアイティ株式会社に商号変更
スリープロエージェンシー株式会社を、ギグワークス・アドバンス株式会社に商号変更

会社概要 ～ギグワークス株式会社（持株会社）～

会社情報	
商号	ギグワークス株式会社
設立	1977年1月
資本金	10億4,573万円
ギグワークス従業員数	2,359名（グループ社員数）
登録エージェント数	125,000名（グループ合算）
本社	東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 虎ノ門ソインビルディング東棟10階
証券コード	東証二部（2375）

事業内容 【子会社の経営管理】	
マーケティング&コミュニケーションサービス	営業代行
	販売支援サービス
フィールドサポートサービス	導入・設置・交換
	保守支援サービス
コンタクトセンターサービス	コールセンター運用
	スタッフ支援サービス
テクノロジーサービス	システム・エンジニアリング開発受託
	スタッフ支援サービス
コワーキングスペースサービス	シェアオフィス
不動産サービス	コンサルティング



会社概要

～グループ会社～

オンデマンドエコノミー事業

ギグワークスアドバリュー株式会社

事業内容	マーケティング&コミュニケーションサービス（営業代行・販売支援サービス）	
	フィールドサポートサービス（導入・設置・交換、保守支援サービス）	
	コンタクトセンターサービス（コールセンター運用、スタッフ支援サービス）	
資本金	1億円	
本社所在地	東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 虎ノ門ツインビルディング東棟10階	
拠点	札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・北九州・熊本	
許可等	労働者派遣事業許可番号	派13-301723
	職業紹介事業許可番号	13-ユ-301333
	電気工事事業許可番号	東京都知事許可（特-29）第138428号
	電気通信工事事業許可番号	東京都知事許可（般-29）第138428号
	建築工事事業許可番号	東京都知事許可（般-28）第138428号
	一般用電気工作物許可番号	神奈川県知事届出 第250016号
	東京都知事登録旅行許可番号	第3-6536号
	古物商許可番号	第304361207816号
	倉庫業免許	登録第8353号（東京キittingセンター）
	第一種貨物利用運送業免許	関自貨第649号
	登録支援機関	19登-001952

ギグワークスクロスアイティ株式会社

事業内容	テクノロジーサービス（ソフトウェア開発・ソフトウェア・パッケージの企画・開発・販売・システム・エンジニアリング開発受託・スタッフ支援サービス）	
資本金	1億円	
所在地	東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 虎ノ門ツインビルディング東棟10階	
拠点	東京・福岡	
許可等	労働者派遣事業許可番号	派13-301571
	職業紹介事業許可番号	13-ユ-312146
	古物商許可番号	第301021408437号



会社概要 ～グループ会社～

シェアリングエコノミー事業

株式会社アセットデザイン		
事業内容	レンタル・パーチャルオフィスサービス	
	不動産サービス	
	コンサルティング	
資本金	2億6,800万円	
所在地	東京都港区西新橋二丁目1番6号 ニュー西新橋ビル	
	宅地建物取引業免許	東京都知事(1)101798号
子会社	株式会社ADA	一級建築士事務所、建物総合管理
	株式会社at マテリアル	建材卸売業

特例子会社・フィンテック事業

ギグワークス・アドバンス株式会社		
事業内容	特例子会社	
資本金	1億円	
所在地	東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 虎ノ門ツインビルディング東棟10階	
拠点	東京・仙台	
	労働者派遣事業届出受理番号	特13-316005
	古物商許可番号	第304361906100号



<https://www.gig.co.jp>